

## 第 5 回総会議案書 付属資料

1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績	
(1) XML コンソーシアムセミナー.....	1
(2) ユーザーシンポジウム.....	7
(3) 部会活動成果発表.....	8
2. 部会活動成果.....	16
(1) SOA 部会.....	16
(2) セキュリティ部会.....	16
(3) Web サービス実証部会.....	17
(4) メタデータ活用部会.....	17
(5) ユビキタス・組み込み系部会.....	18
(6) ビジネス・イノベーション研究部会.....	18
(7) ContactXML 部会.....	19
(8) TravelXML 標準化部会.....	19
(9) コンテンツ利用情報標準化部会.....	20
(10) 関西活動準備プロジェクト.....	20
3. XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果.....	22
(1) 2004 年度 XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果.....	22
(2) XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果比較.....	36
4. 2005 年度 XML コンソーシアム組織.....	41
5. 2005 年度部会活動計画.....	42
(1) SOA 部会.....	42
(2) セキュリティ部会.....	42
(3) Web サービス実証部会.....	43
(4) ドキュメント・メタデータ活用部会.....	44
(5) ユビキタス・組み込み系部会.....	45
(6) ビジネス・イノベーション研究部会.....	46
(7) ContactXML 部会.....	46
(8) TravelXML 標準化部会.....	47
(9) コンテンツ利用情報標準化部会.....	48
(10) 関西部会.....	48
6. 会員会社一覧.....	50

## 1. セミナー、ユーザーシンポジウム、部会活動成果発表開催実績

延べ参加人数合計	4689社	7389名
(1) XML コンソーシアムセミナー	2358社	3924名
(2) ユーザーシンポジウム	235社	341名
(3) 部会活動成果発表	2096社	3124名

### (1) XML コンソーシアムセミナー

開催	プログラム	場所・参加人数
設立総会 特別セミナー  2001年 6月18日	1) 「XML 標準化の最新動向と世界の産業界での取り組み」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様	飯田橋:東京コンファレンスセンター 会 員: 86社 177名 非会員: 52社 80名 合 計:138社 257名
	2) 「Web Service の時代における、セキュリティとセーフティ」 日本アイ・ピー・エム(株) 丸山 宏 様	
第1回 月例セミナー  2001年 7月26日	1) 「XML and Electronic Commerce」 Sun Microsystems Jon Bosak 様	豊洲:日本ユニシス 会 員: 60社 108名 非会員: 56社 61名 合 計:116社 169名
	2) 「Tasting SOAP-Early project experiences with Web Services」 IBM Anton Fricko 様	
第2回 月例セミナー  2001年 9月17日	1) 「XML入門」 日本ユニシス(株) 小林茂 様	王子:北とびあ 会 員: 93社 142名 非会員: 17社 17名 合 計:110社 159名
	2) 「(財)ニューメディア開発協会における電子申請へのXML適用の取り組み」 (財)ニューメディア開発協会 富川直毅 様	
	3) 「XMLを用いた製品説明資料参照サービス」 (株)日立製作所 松永栄夫 様	
	4) 「XMLドキュメントの動向・事例」 イースト(株) 下川和男 様 (XMLコンソーシアム・ドキュメント部会リーダー)	
第3回 月例セミナー  2001年 10月12日	1) 「SOAP,WSDL,UDDI など Web サービスのためのテクノロジーと最新技術動向の概要」 インフォテリアネットワークス(株) 吉松史彰 様	住商情報システム 会 員: 86社 114名 非会員: 4社 4名 合 計:90社 118名
	2) 「Web サービスの意味とインターネット社会へのインパクトについて」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様	
	3) 「富士通の取り組み・事例紹介」 富士通(株) 門間 仁 様	
	4) 「IBMの取り組み・事例紹介」 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様	
	5) 「MSの取り組み・事例紹介」 マイクロソフト(株) 熊谷 恒治 様	
	6) 「Webサービス推進委員会」立ち上げと、今後の活動のご紹介」 XMLコンソーシアム運営委員会有志	
第4回 月例セミナー  2001年 11月5日	1) 「Web サービスの現在と未来」 (株)日立製作所 秋藤 俊介 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 70社 144名 非会員: 13社 14名 合 計: 83社 158名
	2) 「Javaと Visual Basic を利用した Web サービスの実装」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 本 俊也 様	
	3) 「Web サービスの開発とセキュリティ」 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様	
	4) 「HP の Web サービス戦略 ~e-speak から web services platform へ」 日本ヒューレット・パカード(株) 服部 省治 様	
	5) 「流通業 B2B における ebXML TRP 適用検証」 日本電気(株) 伊波 通晴 様	
	6) 「Web サービスによる辞書検索システムの構築事例紹介」 イースト(株) 下川 和男 様	
第5回 月例セミナー  2001年 12月11日	1) 「Service on Demand を実現する Sun ONE(Open Net Environment)の概要」 サン・マイクロシステムズ(株) 関 谷 宏 様	住商情報システム 会 員: 54社 96名 非会員: 11社 12名 合 計: 65社 108名
	2) 「BEA システムズが実現する Web サービスの概要」 日本 BEA システムズ(株) 伊 藤 敬 様	
	3) 「オラクルの Web サービス」 日本オラクル(株) 鈴木 潤一 様	
	4) 「Web サービス, UDDI, 実ビジネス・システム適用の有効性検証」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様	

第5回総会議案書  
付 属 資 料

第6回 月例セミナー  2002年 1月24日	<p>1)「XML2001カンファレンス参加報告 - 使えるXML標準を目指して、 (株)大塚商会 岡部 恵造 様</p> <p>2)「ContactXML 部会設立のご紹介」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様</p> <p>3)XMLを適用したマルチリンガル版マニュアル制作の事例」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 増井 章二 様</p> <p>4)「OracleによるXML文書の全文検索」 日本オラクル(株) 秋本 尚吾 様</p> <p>5)「XML専用全文検索エンジン Zelkova」 インフォテリアネットワークス(株) 高根 英哉 様</p> <p>6)「ドキュメントシステムにおけるXML事例紹介」 (株)日立製作所 大場みち子 様</p>	御茶ノ水:日立製作所 会 員: 62社 112名 非会員: 14社 16名 合 計: 76社 128名
第7回 月例セミナー  2002年 2月21日	<p>1)「BizEngineによるロゼッタネット・ウェブサービス構築事例のご紹介」 NECソリューションズ 里見 明彦 様</p> <p>2)「開発事例紹介: SOAPを使った辞書検索サービス」 イースト株式会社 下川 和男 様・渋谷 誠 様</p> <p>3)「Webサービス技術検証プロジェクト事例・体験報告」 株式会社アイ・ティ・フロンティア 西元 信雄 様</p>	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 52社 95名 非会員: 12社 13名 合 計: 64社 108名
第8回 月例セミナー  2002年 3月19日	<p>1)「BtoBインターネット決済システムへのSOAPの適用」 株式会社NTTデータ 福田 靖 様</p> <p>2)「XMLで実現する普及型電子購買システムの実装と展望」 ビズネット株式会社 清水 秀隆 様</p> <p>3)「SunTechDays レビュー」 サン・マイクロシステムズ株式会社 高橋 成吉 様 日本BEAシステムズ(株) 伊藤 敬 様 日本オラクル(株) 鈴木 潤一 様</p>	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 50社 75名 非会員: 17社 17名 合 計: 67社 92名
第9回 月例セミナー  2002年 4月17日	<p>1)「WSDL相互運用性テスト報告～Web Services Interoperability Forumにおける実証実験～」 日本アイオナテクノロジー株式会社 小野沢 博文 様</p> <p>2)「パイオ分野におけるXMLの応用例～BSMLとXML Genomic Suite DBのご紹介～」 株式会社CRCソリューションズ 安中 敏男 様</p> <p>3)「ネイティブXMLサーバー Tamino 3.1」 株式会社ビーコンIT 田中 聡 様</p> <p>4)「XMLネイティブデータベースエンジン「Yggdrasil(イグドラシル)」～大容量、高速検索、2バイト文字対応など高機能でコストパフォーマンスに優れたデータベースエンジン～」 株式会社メディアフュージョン 前場 大輔 様</p> <p>5)「XMLの可能性を最大限に引き出すXMLデータサーバ「eXcelon XIS」 ～最高データベース賞に輝く、XISによるXMLアプリケーション構築のキー・ポイント～」 日本エクセロン株式会社 武末 徹也 様</p> <p>6)「XMLデータベース連携関連ツール iConnector, iMaker, Zelkova」 インフォテリア株式会社 井下田 久幸 様</p> <p>7)「XML全文検索エンジン BTONIC」 イースト株式会社 下川 和男 様</p> <p>8)「XML電子カタログを活用した次世代型コンフィグレーションエンジンコンフィグPro」 PFU アクティブラボ株式会社 榎本 力也 様</p> <p>9)「サービスベースアプリケーションプラットフォーム SonicXQ」 株式会社オービス総研 正田 豊 様</p> <p>10)「XMLアプリケーション構築プラットフォーム「DataSpider(R)」シリーズ」 株式会社アプレッソ 大畠 幸男 様</p>	豊洲:日本ユニシス 本社 会 員: 82社 140名 非会員: 26社 27名 合 計: 108社 167名
第10回 月例セミナー  2002年 7月17日	<p>1)「XML及びWebサービスの利用及び注目の動向」 株式会社アットマーク・アイティ 小柴 豊 様</p> <p>2)「ここまで来た欧米企業のWebサービス活用 - 議論を終わり、実用のフェーズに入ったWebサービス -」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様(XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</p> <p>3)コミュニケーション・タイム 「普及が始まったXMLそしてWebサービス、その現実に迫る」 株式会社コンピュータ・ニュース社 吉若 徹 様、金井 孝平 様</p> <p>4)パネルディスカッション～「会場からの質問も大歓迎。日本におけるWebサービスの劇的なブレイクをこのパネルから！」 パネラー: 株式会社IDGジャパン 福田 悦朋 様 株式会社アットマーク・アイティ 新野 淳一 様 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p>	渋谷:多摩大学ルネッサンスセンタ- 会 員: 67社 114名 非会員: 17社 21名 プレス: 2社 3名 合 計: 86社 138名
第11回 月例セミナー  2002年	<p>1)-1「情報セキュリティの傾向とその対策の考え方」 富士通(株) 塩崎 哲夫 様</p> <p>1)-2「PKIの動向」 (株)日立製作所 洲崎 誠一 様</p>	御茶ノ水:日立製作所 会 員: 97社 261名 非会員: 28社 30名 合 計: 125社 291名

8月23日	<p>2)-1 「セキュリティ関連XMLの動向とSignature、Encryption、XKMS解説」 沖電気工業(株)池上 勝美 様(XMLコンソーシアム 基盤技術部会)</p> <p>2)-2 「SAML、XACML解説」 富士ゼロックス(株)道村 唯夫 様</p> <p>3)-1 「WS-Security解説」(前半) 日本アイ・ピー・エム株式会社 小坂 一也 様</p> <p>3)-2 「WS-Security解説」(後半) マイクロソフト(株)加藤 健二 様</p> <p>3)-3 「Liberty Alliance 1.0解説」 サン・マイクロシステムズ(株)下道 高志 様</p> <p>4) 「Webサービスセキュリティの互換性評価」 日本電気(株)NECソリューションズ 杉山 高弘 様</p>	
第12回 月例セミナー 2002年 9月17日	<p>1) 「業務におけるWebサービス連携を実現する最新テクノロジー」 日本BEAシステムズ株式会社 伊藤 敬 様</p> <p>2) 「BPEL4WS概説」 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p> <p>3) 「WS-Coordination /WS-Transaction 概要」 マイクロソフト株式会社 野村 一行 様</p> <p>4) 「UDDIの意義と役割」 富士通株式会社 木庭袋 圭祐 様</p> <p>5) 「UDDIにおける国際化・セキュリティ」 日本アイ・ピー・エム株式会社 吉田 忠行 様</p>	豊洲:NTTデータ 会 員:67社 157名 非会員:11社 12名 合 計:78社 169名
第13回 月例セミナー 2002年 10月18日	<p>1) 「文書管理基盤 DocumentBroker を利用したXMLコンテンツ管理」 株式会社日立製作所 島田 敦史 様</p> <p>2) 「電子帳票フレームワークとXMLを活用した効率的なシステム構築」 株式会社富士通インフォソフテクノロジ 山本 昭之 様</p> <p>3) 「XMLドキュメントソリューションのご紹介」 東芝ITソリューション株式会社 石崎 豊 様</p> <p>4) 「Oracle9i ネイティブXMLデータベース」 日本オラクル株式会社 和田 凡央 様</p>	大井町:インフォテリア 会 員:54社 73名 非会員:7社 8名 合 計:61社 81名
第14回 月例セミナー 2002年 11月19日	<p>1) 「電子カルテの新標準MML(Medical Markup Language)の概要と動向」 特定非営利活動法人 MedXMLコンソーシアム 中島 裕生 様 (テクマトリクス株式会社 取締役技術本部長)</p> <p>2) 「XMLコンソーシアム勧告:ContactXMLの概要と実装」 株式会社クレオ 小笠原徳夫 様 (XMLコンソーシアム ContactXML 部会サブリーダー)</p> <p>3) 「次世代GISを担うG-XMLの概要と動向」 株式会社NTTデータ 中井 章文 氏 (G-XML 検討委員会委員)</p>	大井町:インフォテリア 会 員:47社 71名 非会員:9社 9名 合 計:56社 80名
第15回 月例セミナー 2002年 12月19日	<p>1) 「パブリックUDDIの取り組み状況と調達システムにおけるWebサービス適応事例の紹介」 NTTコミュニケーションズ株式会社 町原 宏毅 様</p> <p>2) 「Webサービスを利用した法人向け信用格付・与信管理システム」 テクマトリクス株式会社 杉崎 啓史 様</p> <p>3) 「XMLドキュメント制作ソフトウエアウェアウェア制作」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 金谷恵子 様</p> <p>4) 「携帯端末向けXML Webサービス ゲートウェイ」 日本ユニシス株式会社 鈴木武 様</p>	東品川:日立ソフトウェアエンジニア 会 員:56社 108名 非会員:10社 11名 プレス:1社 1名 合 計:67社 120名
第16回 月例セミナー 2003年 1月17日	<p>1) 「Webサービスは単なる要素技術? ~ Webサービス隆盛の背後にあるもの ~」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様</p> <p>2) 「組み込み機器へのWebサービス応用」 株式会社日立製作所 関口 知紀 様</p> <p>3) 「携帯電話機を業務端末として活用するためのXML/Webサービス適用について」 日本電気株式会社 岸上 信彦 様</p> <p>4) 「データ、XMLおよびWebサービスについて本当に知るべきこと - 期待と現実 -」 米国データディレクトテクノロジーズ社 ブライアン・リード 様</p>	田町:日本電気 本社ビル 会 員:63社 124名 非会員:22社 24名 プレス:1社 1名 合 計:86社 149名
第17回 月例セミナー 2003年 2月18日	<p>1) 「XMLコンソーシアムの標準化への取り組みについて」 XMLコンソーシアム運営委員会</p> <p>2) 「近未来のオンデマンド・サービスをささえるGrid技術におけるWebサービスの役割」 日本アイ・ピー・エム株式会社 長島 哲也 様</p> <p>3) 「Webサービスを利用した輸出信用状明細案内サービス」 株式会社 東京三菱銀行 別筒 正 様</p> <p>4) 「市民と自治体:XMLの役割」 株式会社シナジー・インキュベート 菊田 昌弘 様 (XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</p>	渋谷:多摩大学ルネッサンスセンタ 会 員:65社 115名 非会員:13社 15名 プレス:2社 2名 合 計:80社 132名
第18回 月例セミナー 2003年 6月16日	<p>1) 「OracleのプライベートUDDIについて」 日本オラクル株式会社 鈴木 潤一 様</p> <p>2) 「駅前探険倶楽部 XML Webサービス戦略」 株式会社駅前探険倶楽部 余語 将成 様</p> <p>3) 「テクノロジー/応用技術部会オリエンテーション」</p>	飯田橋:大塚商会 本社 会 員:43社 63名 非会員:13社 17名 合 計:56社 80名

第5回総会議案書  
付 属 資 料

	XML コンソーシアム XMLテクノロジー 部会リーダー XML コンソーシアム 応用技術部会 部会リーダー	
第19回 月例セミナー  2003年 7月15日	1) 「社会基盤としての情報インフラ - 欧米の状況: OASISを中心に」 XMLコンソーシアムエバンジェリスト 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 2) 「アジア圏における情報社会の状況と電子商取引の課題」 東アジア電子商取引協会 伊藤 昇 様 3) 「業務・システムの最適化計画について」 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様 4) パネルディスカッション～「日本の社会基盤としてのITインフラを考える - XMLおよびWEBサービスの役割と期待」 パネラー: 講演者の皆様 モデレーター: XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様	東品川: 日立ソフトウェアエンジニアリ ン 会 員: 49社 82名 非会員: 41社 49名 プレス: 1社 1名 合 計: 91社 132名
第20回 月例セミナー  2003年 8月25日	1) 「知識活用におけるXML技術の利用例」 株式会社ジャストシステム 植松 直也 様 2) 「帳票システムにおけるXML技術の応用例」 エム・アイ・エス・テクノロジー株式会社 石川 雅邦 様 3) 「オントロジ技術への視点」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様(XMLコンソーシアム エバンジェリスト)	北青山: ジャストシステム 会 員: 41社 58名 非会員: 8社 8名 合 計: 49社 66名
第21回 月例セミナー  2003年 9月24日	1) 「BMLとデータ放送の概要について」 日本電気株式会社 高木 泰幸 様 2) 「コンテンツ利用の商取引向けXML標準の開発」 株式会社NTTデータ 藤原 仁 様 3) 「MPEG-7の生成とその利用」 日本アイ・ピー・エム株式会社 益満 健 様	田町: 日本電気 社ビル 会 員: 20社 34名 非会員: 3社 3名 合 計: 23社 37名
第22回 月例セミナー  2003年 10月14日	1) 「World Wide Web Consortium (W3C) におけるWeb技術の国際標準化活動の概要」 慶應義塾大学大学院 平川 泰之 様 2) 「WS-Security標準化動向」 株式会社日立製作所 システム開発研究所 山本 昭之 様 3) 「WS-Manageability, WS-ReliableMessagingの最新動向」 XMLコンソーシアムエバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム株式会社 米持 幸寿 様 4) 「Webサービス向けリライアブルメッセージング標準化の取り組み～WS-Reliabilityの意義と 技術解説～」 富士通株式会社 岩佐 和典 様 日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏俊宏 様 株式会社日立製作所 平野 勲勲 様 日本電気株式会社 関 啓一啓一 様	豊洲: NTT データ 会 員: 36社 85名 非会員: 5社 5名 プレス: 2社 2名 合 計: 43社 92名
第1回 大阪セミナー  2003年 10月29日	1) 基調講演「Webサービスの今と未来」 XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様 2) 「観光情報 Web サービス実証システムの概要」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト 日本アイ・ピー・エム株式会社 日本ユニシス株式会社 3) 「観光情報 Web サービス実証システム・デモ(I)」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト 日進ソフトウェア株式会社 株式会社日立製作所 4) 「観光情報 Web サービス実証システム・デモ(II)」 XMLコンソーシアム 観光情報 Web サービス実証プロジェクト コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社 日本ユニシス株式会社 日本電気株式会社 富士通株式会社	大阪: 日本ユニシス 関西支 社 会 員: 13社 27名 非会員: 7社 18名 合 計: 20社 45名
第23回 月例セミナー  2003年 11月7日	1) 「実用化が進むXMLやWebサービスの現状と未来」 XMLコンソーシアム副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様 2) 「ケータイでXMLは普及するのか?～XML Binary, Mobile BML, SVG Mobileに関する動向」 株式会社KDDI 研究所クレオ 小林 亜令 様 3) 「XMLを利用したインタラクティブモバイルアプリケーション、米国での開発事例」 UIEvolution CEO 中島 聡 様 4) 「マッチメイキングを実現するWebサービスの高度検索とUDDIビジネスレジストリ」 株式会社東芝 長谷川 哲夫 様 1) 「XML最新事情とWebサービス標準化全体像2003」 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様(XMLコンソーシアム 副会長) 2) 「OGSAベースのWebサービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング株式会社 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様 3) 「Webサービスビジネスプロセス実行言語BPEL4WS(OASIS WSBPEL TC)解説」 NEC ソリューション開発研究本部インターネット基盤開発本部 兼 インターネットシステム研究所 杉山 高弘 様 4) 「来年度からのXMLコンソーシアムの活動と運営について」 XMLコンソーシアム 副会長&運営委員議長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム)	箱崎: 日本アイ・ピー・エム 会 員: 48社 71名 非会員: 5社 5名 プレス: 2社 2名 合 計: 55社 78名

	株式会社)	
第2回 大阪セミナー  2003年 12月5日	1) 基調講演:「標準化団体 OASIS とグローバル・オープン標準 - OASIS の標準化活動と Web サービス最新動向」 XML コンソーシアム Web サービス推進委員会議長 XML コンソーシアム エバンジェリスト 岡部 恵造 様 (株式会社 大塚商会) 2) 「ケータイで XML は普及するのか? ~XML Binary, Mobile BML, SVG Mobile に関する動向~」 株式会社 KDDI 研究所 主任 小林 亜令 様 3) 「OGSA ベースの Web サービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング 株式会社 オンデマンド・テクノロジー 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様	大阪:日本ユニシス 関西支社 会 員: 12社 18名 非会員: 12社 21名 合 計: 24社 39名
第24回 月例セミナー  2003年 12月25日	1) 「XML 最新事情と Web サービス標準化全体像 2003」 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様 (XML コンソーシアム 副会長) 2) 「OGSA ベースの Web サービス構築実験報告」 日本IBM システムズエンジニアリング株式会社 石黒 徹 様 アドソル日進株式会社 荒本 道隆 様 3) 「Web サービスビジネスプロセス実行言語 BPEL4WS (OASIS WSBPEL TC) 解説」 NEC ソリューション開発研究本部インターネット基盤開発本部 兼 インターネットシステム研究所 杉山 高弘 様 4) 「来年度からの XML コンソーシアムの活動と運営について」 XML コンソーシアム 副会長 & 運営委員議長 田原 春美 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社)	田町:日本電気 本社ビル 会 員: 37社 70名 非会員: 16社 16名 プレス: 2社 2名 合 計: 55社 88名
第3回 大阪セミナー  2004年 2月6日	1) 「企業戦略のイネーブラーとしての Web サービス」 XML コンソーシアム エバンジェリスト 丸山 宏 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社) 2) 「Service Oriented Architecture 概説」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様 3) 「NewsML 1.2 と ProgramGuideML」 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 4) 「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社 上田 隆司 様 (応用技術部会 セキュリティ WG) 「今年度の活動中間報告」 日本テレコム株式会社 山口 英子 様 (応用技術部会 セキュリティ WG)	大阪:日本ユニシス 関西支社 会 員: 10社 12名 非会員: 4社 9名 合 計: 14社 21名
第25回 月例セミナー  2004年 3月15日	1) 「電子商取引の現状と今後の展望 - 日本企業の EC 実態と今後の XML/EDI の展望 -」 電子商取引推進協議会 (ECOM) 主席研究員 斉藤 幸則 様 2) 「XBRL の技術動向」 XBRL Japan 開発委員会 (株)日立システムアンドサービス 研究開発センタ センタ長 三分一 信之 様 富士通(株) ソフトウェア事業本部 XML/Web サービス技術部 課長 鈴木 利光 様 3) 「WS-I の最新動向」 WS-I Japan Special Interest Group 富士通(株) 成田 雅彦 様 富士通(株) 沼田 利典 様 (株)野村総合研究所 戸田 隆一郎 様 4) 「人材情報の流通を変える HR-XML」 日本人材データ標準化協会 (HR-XML コンソーシアム・ジャパン) 専務理事 竹川 忠徳 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 39社 62名 非会員: 8社 9名 プレス: 3社 3名 合 計: 50社 74名
XML コンソーシアム・部会 紹介セミナー  2004年 6月28日 7月1日 (両日同内容)	1) 「XML コンソーシアム 2004 年度基本方針、活動計画のご紹介」 XML コンソーシアム副会長 & 運営委員会議長 田原 春美 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社) 2) 「メタデータ活用部会」 株式会社リコー 野村 直之 様他 3) 「セキュリティ部会」 株式会社 ネット・タイム 岡村 和英 様 4) 「ユビキタス・組み込み系部会」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様 5) 「TravelXML 標準化部会」 株式会社 NTT データ 遠城 秀和 様 6) 「ビジネス・イノベーション研究部会」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様 7) 「SOA 部会」 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様 8) 「Web サービス実証部会」 PFU アクティブラボ株式会社 松山 憲和 様他	箱崎:日本アイ・ピー・エム 6月28日 会 員: 24社 43名 非会員: 1社 1名 合 計: 25社 44名 7月1日 会 員: 37社 58名 非会員: 9社 12名 合 計: 46社 70名
XML コンソーシアム セミナー	1) 「様々なメタデータ活用と情報流通・サービス連携を促進するアプリ、インフラについて ~メタデータが日常生活に入ってきて便利になる(か)~」 株式会社リコー 野村 直之 様	東品川:日立ソフトウェアエンジニア 会 員: 43社 81名

<p>2004年 7月14日</p>	<p>日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 株式会社フジミック 大坂 哲司 様 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 NTTソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 Sky株式会社 玉川 竜司 様 株式会社富士通研究所 小田切 純一 様 NTTソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 株式会社電通国際情報サービス 千葉 恭弘 様 日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社 大庭 幹生 様</p>	<p>非会員: 22社 23名 プレス: 2社 2名 合 計: 67社 106名</p>
	<p>2)「Semantic Web はいつ"離陸"するか? ~2010年のWeb、情報検索のイメージ~」 慶應義塾大学 萩野 達也 様</p>	
	<p>3)「プロジェクトマネジメントへの Semantic Web サービスの適用の試み」 東洋大学 中挟 知延子 様</p>	
	<p>4)「Seamless Knowledge を目指して: Topic Maps と Published Subjects」 ナレッジ・シナジー 内藤 求 様</p>	
	<p>5)パネル討論「ユビキタス情報環境におけるメタデータ活用の新アプリとビジネスモデル」 ~情報流通、サービス連携促進の為の標準化活動、産学協働への期待~ マサチューセッツ工科大学 宮川 繁 様 慶應義塾大学 萩野 達也 様 東洋大学 中挟 知延子 様 ナレッジ・シナジー 内藤 求 様 ドコモ・システムズ 大野 邦夫 様 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 株式会社フジミック 大坂 哲司 様 NTTソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 モデレータ: 株式会社リコー 野村 直之 様</p>	
<p>XMLコンソー シアム・セミナ ー 2004年 8月19日</p>	<p>1)「ユーザ企業にとっての SOA の意義と対応への一考察」 XMLコンソーシアムエバンジェリスト キヤノン株式会社 倉沢 良明 様</p> <p>2)「ビジネスの現場におけるIT活用術」 株式会社芝パークホテル 石原 直 様</p>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 42社 67名 非会員: 2社 2名 プレス: 3社 5名 合 計: 47社 74名</p>
<p>ユーザ企業のための XML、Web サービス、 SOA活用講座 第1日目 2004年 9月15日</p>	<p>1)「ユーザ企業にとっての IT -Web サービス、SOA の意義と対応への一考察」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト キヤノン株式会社 倉沢良明 様</p> <p>2)「今さら聞けないXML入門」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト 日本ユニシス・ソフトウェア株式会社 小林 茂 様</p>	<p>五反田:日本アイ・ビー・エム 会 員: 4社 5名 非会員: 7社 8名 合 計: 11社 13名</p>
<p>ユーザ企業のための XML、Web サービス、 SOA活用講座 第2日目 2004年 9月16日</p>	<p>1)「今さら聞けないWeb サービス入門」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト 日本アイ・ビー・エム株式会社 米持 幸寿 様</p> <p>2)「Web サービス活用の実際」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様</p> <p>3)ディスカッション「どう使えるXML/Web サービス/SOA」</p>	
<p>ユーザ企業のための XML、Web サービス、 SOA活用講座 第3日目 2004年 9月17日</p>	<p>1)「SOA 概説」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト 日本アイ・ビー・エム株式会社 天野 富雄 様</p> <p>2)「SOA がもたらすビジネス変革」 XMLコンソーシアム・エバンジェリスト 日本アイ・ビー・エム株式会社 丸山 宏 様</p> <p>3)ディスカッション「XML/Web サービスの業務への活用検討」</p>	
<p>XMLコンソー シアム・セミナ ー 2004年 10月19日</p>	<p>1)「おサイフケータイ、iモードフェリカ始まる！」 株式会社NTTドコモ 山口 善輝 様</p> <p>2)「AIAP-URC の概要とユニバーサルインターフェイス」 情報アクセシビリティ研究者/ライター 梅垣 正宏 様</p> <p>3)「やおよろずプロジェクトについて」 株式会社日立製作所 本間 弘一 様</p> <p>4)「ユビキタス社会を構築するモバイル CRM」 ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫 様</p> <p>5)「群ユーザ支援 - ユビキタス情報環境による社会支援に向けて」 独立行政法人 産業技術総合研究所 車谷 浩一 様</p> <p>6)パネルディスカッション 講演者 情報アクセシビリティ研究者/ライター 梅垣 正宏様 株式会社日立製作所 本間 弘一様 独立行政法人 産業技術総合研究所 車谷 浩一様 XMLコンソーシアム ユビキタス・組み込み系部会メンバー XMLコンソーシアム エバンジェリスト ドコモ・システムズ株式会社 大野 邦夫様 XMLコンソーシアム エバンジェリスト 株式会社日立製作所 大場 みち子様(モデレータ)</p>	<p>品川:日立システムアンドサービス 会 員: 29社 48名 非会員: 7社 10名 合 計: 36社 58名</p>
<p>XML コンソー シアム 関西での活動 を盛りあげよ</p>	<p>1)「サービス指向アーキテクチャ(SOA)が目指す世界は？」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様(ビジネスイノベーション部会)</p> <p>2)「Web サービスのセキュリティ」 株式会社ネット・タイム 岡村 和英 様(セキュリティ部会)</p>	<p>大阪:日本ユニシス 会 員: 11社 33名 非会員: 8社 10名 合 計: 19社 43名</p>

う集会	3)「Web サービス実証とは何か？」 PFUアクティブラボ株式会社 松山 憲和 様(Web サービス実証部会)	
2004年 12月2日	4)「Blogについて」 日本ユニシス・ソリューション株式会社 小林 茂 様(メタデータ活用部会)	
PAGE2005 ジョイントセミナー	1)「ATOMの概要とオープンソースライブラリを使ったSKY ACTIVE FIELDへの実装」 Sky 玉川竜司様	池袋:サンシャイン コンベンションセンター 合計: 30名
メタデータ活用による次世代コンテンツ流通促進のためのXML標準規格と基盤ソフトウェア	2)「コンテンツ流通に関するメタデータ規格の最近の動向 ～J/Meta, MXF, OAI-PMHなどのご紹介」 フライトシステムコンサルティング 武田昌明様	
	3)「RDF共有ブックマークを使用したRDF情報の信頼性表現モデルとその応用システム」 日本電気 白石展久様	
	4)「XML複合文書エディタxfy紹介」 ジャストシステム 赤井靖雄様	
2005年 2月4日		
XMLコンソーシアム・セミナー	1)イントロダクション「XMLデータベースの概要と市場」 XMLコンソーシアム メタデータ活用部会 株式会社リコー 野村直之様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会員: 45社 80名 非会員: 25社 29名 プレス: 1社 1名 合計: 71社 110名
XMLデータベース徹底研究	2)「XMLデータベース製品紹介」 日本アイ・ピー・エム株式会社 菅原 香代子様 株式会社メディアフュージョン 梅本 真義様 株式会社セック 川口 浩司様 日本オラクル株式会社 秋本 尚吾様 ソニックソフトウェア株式会社 武末 徹也様	
2005年 3月14日	3)特別講演「優れたWebDBの機能・性能要件と技術課題、応用について」 名古屋大学情報連携基盤センター 吉川正俊様	
	4)パネルディスカッション「XMLデータ活用の現状・今後の展望」 [パネラー] 上記講演者、ウルシステムズ株式会社林 浩一様 [モデレータ] 株式会社リコー 野村直之氏	

(2)ユーザーシンポジウム

開催	場所・参加人数	
ユーザーシンポジウム2004	1) 基調講演(1)「XMLが拓げるビジネスシステム」 東京大学 総合研究機構 俯瞰工学部門 教授 松島 克守 様 (日本ビジネスモデル学会会長)	飯田橋:東京コンファレンスセンター 会員: 51社 72名 非会員: 16社 17名 プレス: 7社 7名 合計: 74社 96名
2004年 2月25日	2) 基調講演(2)「旅行業界におけるEDIの現状と標準化への取り組み」 株式会社ジェイティビー 取締役 CIO 佐藤 正史 様	
	3)「XMLユーザー企業事例紹介」 倉敷印刷(株)情報システム開発 和賀山 新太郎 様 東京ガス(株)情報通信部 主幹 木津 吉永 様 京セラ(株)電子部品統括営業部 情報システム部責任者 吉原 哲朗 様	
	4) パネルディスカッション:「XMLは本当に役に立ったのか? 役立つのか?」 モデレータ: Web サービス委員会委員長,OASIS日本代表 岡部 恵造 様 パネラー: 東京大学 総合研究機構俯瞰工学部門教授 松島 克守 様 東京ガス(株)情報通信部 主幹 木津 吉永 様 京セラ(株)電子部品統括営業部 情報システム部責任者 吉原 哲朗 様 (株)ジャパンネット銀行 企画部 部長代理 北 周介 様	
	5) 懇親会	
第2回ユーザーシンポジウム 経営に活かすIT	1) 基調講演「経営に活かすIT」 株式会社芝パークホテル 取締役社長 石原 直様	品川:東京コンファレンスセンター 会員: 40社 68名 非会員: 25社 38名 プレス: 3社 3名 合計: 68社 109名
2004年 12月15日	2) 特別講演「日本銀行におけるXBRLへの取り組み」 日本銀行 査査局 金融データ管理担当総括 和田 芳明様	
	3) XML/Web サービスユーザー企業事例(1) 「名刺・封筒におけるXML-EDIの現状と山櫻の取り組み」 株式会社山櫻 営業本部 e 調達ソリューショングループ グループ長 笠原 祥子様	
	4) XML/Web サービスユーザー企業事例(2) 「Web サービスを用いたグリッドポータル構築」 大日本印刷株式会社 技術開発センター 生産総合研究所 リーダー 伊豫田 一成様	
	5) ユーザー企業 取り組みのご紹介 「ビジネスとITの懸け橋」 住友信託銀行株式会社 業務管理部 経営情報システム T 渡部 信之様	
	6) パネルディスカッション「経営に活かすIT」	

	<p>パネラー： 芝パークホテル 石原 直氏 他上記講演者 モデレーター:XML コンソーシアム 副会長 インフォテリア株式会社 代表取締役社長 平野 洋一郎様</p>	
<p>第3回 ユーザーシン ポジウム リアル Web サ ービス 2005年 4月15日</p>	<p>1) 特別講演(1)「外食産業におけるシステムのオープン化への 取り組みとWeb サービスへの期待」 (株)ニユートーキョー 財務部情報システム室 室長 湯澤一比古 様 OFSC(Open Foodservice System Consortium)事務局長 酒美保夫 様 (株)フォアサイト代表取締役社長)</p> <p>2) 特別講演(2)「SOA前夜の『動かないコンピュータ』」 (株)日経BP 日経コンピュータ 副編集長 中村建助 様</p> <p>3) XML/Web サービスユーザー企業 事例(1) 「タクシーサイトの Web サービス(GeOAP)採用の理由」 (株)タクシーサイト 開発企画部長 田口一博 様</p> <p>4) XML/Web サービスユーザー企業 事例(2) 「世界最大級の Web サービス提供者が語る～Web サービスは使える技術」 アマゾンジャパン(株) Amazon Web サービス テクニカルエバンジェリスト 吉松史彰 様</p> <p>5) XML/Web サービスユーザー企業 事例(3) 「Webサービスを活用したネット調達システム構築事例のご紹介」 (株)プレオマート プロキアメントソリューション営業部 リーダー 松瀬義則 様</p> <p>6) パネルディスカッション：「リアルな Web サービスとは？」 コーディネーター：XML コンソーシアム 副会長 インフォテリア(株) 代表取締役社長 平野洋一郎 様 パネラー： 上記講演者</p>	<p>品川:東京コンファレンスセ ンター 会 員： 47社 79名 非会員： 41社 52名 プレス： 5社 5名 合 計： 93社 136名</p>

(3)部会活動成果発表

開催	プログラム	場所・参加人数
<p>第1回 XML コンソーシアム Day 2001年 11月22日</p>	<p>1) 「"組み込み"XMLの可能性:なぜ必要なのか、何のために使うのか」 富士電機(株) 梅崎 一也 様</p> <p>2) 「ニュース用XMLの世界標準"NewsML":メディア業界におけるXMLの取り組みと規格内容」 (株)朝日新聞社 竹原 大祐 様 日本アイ・ピー・エム(株) 藤原 隆弘 様</p> <p>3) 「XMLコンテンツ規格の動向:SGMLからXMLへ～ドキュメントからコンテンツへ～」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様</p> <p>4) 「SVG-DOMによる豊かなクライアントXML表現力:XHTML-SVG中心の複合文書の可能性」 (株)フジミック 大坂 哲司 様 法政大学エクステンション・カレッジ 野村 直之 様 (Justsystem, Technology Advisor)</p> <p>5) 「VoiceXML概説:VoiceXMLの基礎」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様</p> <p>6) 「VoiceXML最新事例:日本初!音声ポータルサービス Voizi(ボイジー)」 日本テレコム(株) 遠藤 聡子 様</p> <p>7) 「ビジネス報告書言語 XBRL概要:～財務情報サプライチェーンをめざすXBRLの紹介～」 日本ユニシス(株) 小林 茂 様 (株)日立製作所 湯浦克彦 様</p> <p>8) 「図解XML規格(セキュリティ編):～セキュリティ関連XML規格の最新動向～」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様</p> <p>9) 「パネル討論:Webサービスの光と陰」 パネラー: 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様 日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 松下 嘉哉 様 モデレーター: 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様</p>	<p>九段:日本教育会館 会 員： 71社 126名 非会員： 28社 29名 合 計： 99社 155名</p>
<p>第2回 XML コンソーシアムD ay 2002年 2月6日</p>	<p>1) 「NewsMLでの外字表現を考える」 日本アイ・ピー・エム(株) 藤原 隆弘 様</p> <p>2) 「XMLニュース検索アプリケーション」 日本ユニシス(株) 小林 茂 様 読売新聞社 三宅 学 様</p> <p>3) 「RDBを用いたXML差分管理」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 様</p> <p>4) 「Webサービスによる簡易ナレッジマネジメントの実装例」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様</p> <p>5) 「VoiceXML部会活動紹介」 (株)日立製作所 禰寝 義人 様</p> <p>6) 「Webサービスの関連技術動向」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</p> <p>7) 「XMLスキーマの主な機能と用途」 情報技術開発 高橋 洋 様 ジャストシステム(株) 赤井 靖雄 様</p>	<p>品川:コクヨホール 会 員:103社 241名 非会員: 57社 64名 合 計:160社 305名</p>

	8) 「Webサービス推進委員会報告」 (株)大塚商会 岡部 恵造 様	
	9) 「Webサービスのビジネスモデルと、ワークフロー言語調査結果」 日本IBM(株) 天野 富夫 様 富士通(株) 前田 隆之 様 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様	
	10) 「ContactXML部会紹介」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第1日  2002年 5月27日	1) 「XMLコンソーシアム会長挨拶」 XMLコンソーシアム会長 鶴保 征城 様 (NTTソフトウェア(株) 代表取締役社長)	田町:日本電気 本社ビル 会 員:105社 155名 非会員: 64社 70名 合 計:169社 225名
	2) 「XML Schemaの主な機能と動向」 情報技術開発(株) 高橋 洋 様 ジャストシステム(株) 赤井 靖雄 様	
	3) 「RDBを用いたXML差分管理と部分木取得」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 様	
	4) 「XMLデータベースの機能比較調査」 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様	
	5) 「DBからXMLスキーマによって部分XMLを取得する」 エヌピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様	
	6) 「組込みシステムとXML」 富士電機(株) 梅崎 一也 様	
	7) 「組込み分野におけるシステムモデルの一例」 ミノルタ(株) 白澤 俊哉 様	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第2日  2002年 5月30日	1) 「VoiceXML部会活動の紹介」 日本アイ・ピー・エム(株) 村上 光 様	豊洲:NTT データ 豊洲センタービル 会 員: 60社 79名 非会員: 45社 49名 合 計:105社 128名
	2) 「VoiceXML和訳グループの活動」 ドコモ・システムズ(株) 大野 邦夫 様	
	3) 「組込み系音声システムの現状および今後の展開について」 (株)コムスクエア 井上 直矢 様	
	4) 「VoiceXML部会アプリケーションWGよりの報告」 (株)富士通研究所 伊藤 映 様	
	5) 「ContactXMLのコンセプトとContactXML次期バージョンのご紹介」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様	
	6) 「筆まめのContactXML対応で何が変わるか？」 (株)クレオ 小笠原 徳夫 様 (株)クレオ 押尾 孝浩 様	
	7) 「ContactXMLとNotes/Dominoによる多言語(日中英)コンタクト情報の連携」 (株)PFU 糸山 英二 様 (株)PFU 岩松 哲男 様	
	8) 「コンタクト情報の「標準化」による顧客データベース運用の課題と可能性」 (株)エニイ 竹村 直浩 様 (株)エニイ 河又 芳雄 様	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第3日  2002年 6月10日	1) 「XSLの活用と技術内容の紹介」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 XMLコンソーシアム エバンジェリスト 小林 茂 様 (日本ユニシス(株))	大井町:インフォテリア 会 員: 68社 107名 非会員: 44社 51名 合 計:112社 158名
	2) 「SVG、XHTML中心の複合文書で、異メディア間で文字列を使い回す」 (株)フジミック 大坂 哲司 様	
	3) 「XMLを用いたマルチメディアコンテンツシステム」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様	
	4) 「セキュリティ関連XML規格の紹介」 ミノルタ(株) 上田 隆司 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 沖電気工業(株) 池上 勝美 様	
	5) 「XKMSシステムの開発」 沖電気工業(株) 池上 勝美 様 富士ゼロックス(株) 道村 唯夫 様 リコーシステム開発(株) 小堀 真義 様	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第4日  2002年 6月12日	1)-1 「常識を備えた SemanticWebのエージェントに検索させてみる」 (株)ジェー・アイ・イー・シー 大泉 英之 様	東品川:松下電器産業 会 員: 80社 132名 非会員: 55社 61名 合 計:135社 193名
	1)-2 「『若い奴は演歌は聴かない』って知ってる検索エンジンの試作イメージ」 ジャストシステム(株) 野村 直之 様	
	2) 「付箋紙をXLinkで動かしてみる ~こんなビジュアル効果はどう?」 (株)フジミック 大坂 哲司 様	
	3) 「Web サービス技術動向とシステム構築における考察」 (株)ジャステック 中村 知義 様 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様	
	4) 「事例から探る Web サービスのビジネスモデル」	

	日本アイ・ピー・エム(株) 天野 富夫 様	
	5) 「レガシーAPをどのように Web サービス化するか」 NTTソフトウェア(株) 妹尾 正身 様 富士通(株) 前田 隆之 様	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第5日	1) 「NewsML-DB 連携アプリケーション例と NewsML をめぐる動向」 (株)読売新聞社 三宅 学 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 70社 135名 非会員: 38社 43名 合 計:108社 178名
2002年 6月13日	2) 「NewsML 解説と NewsML-Toolkit 紹介」 日本電気(株) 新田 一樹 様	
	3) 「NewsMLを活用したニュース検索 Web サービスの構築」 PFIアクティブラボ(株) 松山 憲和 様	
	4) 「Web サービスセキュリティの評価、実運用時の問題点」 日本電気(株) 杉山 高弘 様	
	5) 「Web サービス適用事例募集！」 日本アイ・ピー・エム(株) 武用 佳哲 様	
	6) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 日本オラクル(株) 鈴木 俊宏 様	
	7) 「Web サービス推進委員会 技術小委員会報告」 富士通(株) 松下 嘉哉 様	
	8) 「Web サービス開発ガイドのご紹介」 日立ソフトウェアエンジニアリング(株) 高野 浩義 様 NTTソフトウェア(株) 立川 敬行 様	
	9) 「Web サービスでの分類・識別コードの利用について」 (株)NTTデータ 遠城 秀和 様 富士通(株) 木庭袋 圭祐 様	
	10) 「分散オブジェクト推進協議会(DOPG)による Web Services 相互運用検証報告」 分散オブジェクト推進協議会 システム インテグレーション分科会主査 原嶋 秀次 様(株)東芝 分散オブジェクト推進協議会 トランザクション/コンポーネント分科会主査 成田 雅彦 様(富士通(株)) 分散オブジェクト推進協議会 相互運用分科会主査 佐治 信之 様(日本電気(株)) 分散オブジェクト推進協議会 足立 勇 様((株)日立製作所) 分散オブジェクト推進協議会 村川 純 様(サンマイクロシステムズ(株)) 分散オブジェクト推進協議会 鈴木 潤一 様(日本オラクル(株))	
第1回 XMLコンソーシアム Week 第6日	1) 「MDA - OMG の提唱するアーキテクチャ参照モデルにおける UML と XML」 OMG ジャパン 伊藤 友里恵 様	丸の内:富士通 本社 会 員: 42社 54名 非会員: 40社 41名 合 計: 82社 95名
2002年 6月14日	2) 「電子コラボレーション新世紀 ~ ebXML で実現する電子コラボレーションビジネス ~」 電子商取引推進協議会 菅又 久直 様	
	3) 「RosettaNet の現状と日本における展開と Vision」 ロゼッタネットジャパン 元運営委員長 大内 博志 様 (NTT コミュニケーションズ(株))	
	4) 「XBRL による財務情報処理・開示の実現」 XBRLJapan リエゾン委員 木村 章展 様(中央青山監査法人) デモ協力 (株)日立製作所 (株)日立システムアンドサービス 富士通(株) (株)富士通プライムソフトテクノロジー	
	5) 「XML 技術者認定制度「XML マスター」の紹介と合格の為の傾向と対策」 XML技術者育成推進委員会 事務局長 吉政 忠志 様(インフォテリア(株))	
	6) 「ご挨拶:XML コンソーシアム平成 14 年度活動計画」 XML コンソーシアム副会長 田原 春美 様(日本アイ・ピー・エム(株))	
第3回 XMLコンソーシアム Day 第1日	1) 「音声ポータル試用調査報告」 沖電気(株) 渡辺 聡 様	豊洲:日本ユニシス 会 員: 56社 97名 非会員: 22社 54名 合 計: 78社 121名
2002年 11月7日	2) 「なぜいまマルチモーダルか」 マイクロソフト(株) 金子 宏 様 「FOMAによるマルチモーダル・アプリケーションのデモ」 有限会社サイウイズ 杉江 健司 様	
	3) 「VoiceXML の日本語に関する問題点」 (株)日立製作所 鯨井 俊宏 様	
	4) 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界 (SMIL の概要)」 ネクストソリューション(株) 加藤 上直 様 「SMIL が作るマルチメディア Web の世界 (SMIL2.0 と XHTML+SMIL)」 NTTソフトウェア(株) 奥山 信輔 様	
	5) 「XQuery ってどんなもの？」 NTTソフトウェア(株) 山本 浩一 氏 日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング(株) 大庭 幹生 様	
	6) 「PDA WG 活動報告」 ミノルタ(株) 的場 和男 様	
	7) 「部分 XML 抽出プロトタイピング」 (株)エヌピーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様	

<p>第3回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2002年 11月8日</p>	<p>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア(株) 吉政 忠志 様 「ContactXML Version1.1 勧告解説」 インフォテリア(株) 江島 健太郎 様</p> <p>2) 「ContactXML 対応ソリューション互換性について」 株式会社アイフォー 高崎 研 様 株式会社クレオ(部会サブリーダー) 小笠原 徳夫 様 富士ソフトABC 株式会社 藤原 章裕 様</p> <p>3) 「日本初。Web サービス対応名刺作成サービスの構築にむけて」 ブレインセラーズ・ドットコム(株) 柳下 剛利 様</p> <p>4) 「W3C SOAP1.2 Update Review」 マイクロソフト(株) 増田 吉宏 様</p> <p>5) 「インターネット公開 Web サービスの配置・展開の考察」 日本ユニシス(株) 牧野 友紀 様</p> <p>6) 「SemanticWeb が実現する次世代インターネットの世界～知識管理とビジネス高度化のために SemanticWeb は「使える」か?」 (株)ジャストシステム 野村 直之 様</p> <p>7) 「応用部会/Web サービス WG 活動状況報告」 PFUアクティブラボ(株) 松山 憲和 様</p>	<p>渋谷:多摩大学ルネッサンスセンター 会 員: 67社 100名 非会員: 22社 25名 合 計: 89社 125名</p>
<p>第4回 XMLコンソーシアム Day 第1日</p> <p>2003年 3月4日</p>	<p>1) 「ContactXML 部会 現状の活動報告」 インフォテリア株式会社 吉政 忠志 様 (ContactXML部会リーダー) 「ContactXML 部会 IPACT_WG 活動報告」 郵政事業庁 中川 真孝 様 (ContactXML部会 IPACT_WG リーダー) 「ContactXML 部会 ContactXML ユーザー会」 株式会社クレオ 小笠原 徳夫 様 (ContactXML部会 サブリーダー)</p> <p>2) 「ContactXML 次期バージョンに向けて」 インフォテリア株式会社 江島 健太郎 様 (ContactXML部会/XMLコンソーシアム エバンジェリスト)</p> <p>3) 「海外のプロビジョニング企業の事例研究」 富士通株式会社 棚橋 一也 様 (XMLテクノロジー部会)</p> <p>4) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (前半)」 株式会社ジャストシステム 野村 直之 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト) 「セマンティック Web の動向とメタデータ (後半)」 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 (XMLテクノロジー部会 セマンティック Web WG / XMLコンソ - シアム エバンジェリスト)</p> <p>5) 「MVCフレームワークにおける XMLコンテンツハンドリング」 情報技術開発株式会社 高橋 洋 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</p> <p>6) 「SMILを用いたWebセミナーシステム」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様 (XMLテクノロジー部会 複合コンテンツ WG)</p> <p>7) 「マルチビュー・モニタリングシステム SKY MULTI EYEへのオープンソース・XMLデータベースの適用事例」 スカイ・シンク・システム株式会社 玉川 竜司 様</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 48社 59名 非会員: 23社 25名 合 計: 71社 84名</p>
<p>第4回 XMLコンソーシアム Day 第2日</p> <p>2003年 3月5日</p>	<p>1) 「XML Signature、XML EncryptionとSAMLの実装」 応用技術部会 セキュリティ WG 奴久妻 章 様 (株式会社ミノルタソフトウェア研究所)</p> <p>2) 「SAMLを用いたシングルサインオン システムの開発」 応用技術部会 セキュリティ SWG 坂田 祐司 様 (株式会社 NTT データ)</p> <p>3) 「XML Signature、XML Encryptionの実装」 応用技術部会 セキュリティ SWG 池上 勝美 様 (沖電気工業株式会社)</p> <p>4) 「NewsML(ニュースエムエル)でTamino(タミーノ)とXML Spy(XMLスパイ)の接続を検証する」 応用技術部会 NewsML - WG 藤原 隆弘 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社) 田中 聡 様 (株式会社ビーコンIT) データ提供 株式会社読売新聞社</p> <p>5) 「標準化推進委員会とTravelXML標準化部会のご紹介」 運営委員会 標準化推進委員会 遠城 秀和 様 (株司会社NTTデータ)</p> <p>6) 「ここまで来た Web サービス」 XMLコンソーシアム エバンジェリスト 丸山 宏 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社)</p> <p>7) 「デスクッションタイム」 司会 XMLコンソーシアム副会長 田原晴美 様 (日本アイ・ピー・エム株式会社) XMLコンソ - シアム エバンジェリスト 大野 邦夫 様 (ドコモ・システムズ株式会社) 菊田 昌弘 様 (株式会社シナジー・インキュベート)</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 38社 64名 非会員: 12社 12名 合 計: 50社 76名</p>

	小林 茂 様 (日本ユニシス株式会社) 野村 直之 様 (株式会社ジャストシステム/法政大学エクステンションカレッジ) 藤岡 慎弥 様 (沖電気工業株式会社)	
第2回 XMLコンソーシアム Week 第1日  2003年 5月26日	1) 「Webサービスの使いかた-Webサービスによるアプリケーション連携の真相-」 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫 様 2) 「音声ビジネスの現状と今後」 日本アイ・ピー・エム株式会社 村上 光 様 有限会社しーこむ 吉田 創 様 3) 「旅行業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML - の開発」 株式会社NTTデータ 遠城 秀和 様 4) 「コンテンツ利用の商取引向け XML 標準の開発」 株式会社NTTデータ 福永 博信 様	豊洲:日本ユニシス 会 員: 39社 76名 非会員: 26社 30名 プレス: 1社 1名 合 計: 66社 107名
第2回 XMLコンソーシアム Week 第2日  2003年 5月27日	1) 「SemanticWeb の概要と応用展望」 株式会社ジャストシステム & 法政大学野村 直之 様 2) 「メタデータ利用の効果～メタデータ標準の活用事例～メタデータ自動抽出の要素技術はどこまでいけるか?」 株式会社ジャストシステム 川崎 洋治 様 3) 「XHTML、SVG に RDF を埋め込んで Web サマリー生成コントロール(RSsS)」 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様	豊洲:NTT データ 会 員: 39社 55名 非会員: 20社 25名 合 計: 59社 80名
第2回 XMLコンソーシアム Week 第3日  2003年 5月28日	1) 「ContactXML 部会、IPACT-WG、ContactXML ユーザー会活動報告」 インフォテリア株式会社 吉政 忠志 様 株式会社クレオ 小笠原 徳夫 様 2) 「ContactXML Version1.1a の発表と次バージョンへの考察」 インフォテリア株式会社 江島 健太郎 様 3) 「マルチメディア Web の現状と応用」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様 NTT ソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様 4) 「ネイティブ XML-DB に格納した XML (SVG データ) を XQuery で検索するツールのデモ」 NTT ソフトウェア株式会社 山本 浩一 様 株式会社電通国際情報サービス 千葉 恭弘 様 日本IBMシステムズ・エンジニアリング株式会社 大庭 幹生 様 5) 「マルチビュー・モニタリングシステム SKY MULTI EYE へのオープンソース・XML データベースの適用事例」 スカイ・シンク・システム株式会社 玉川 竜司 様 6) 「DB から部分 XML を抽出する」 株式会社エヌビーシーシステムドットコム 赤井 寧子 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 40社 62名 非会員: 14社 14名 合 計: 54社 76名
第2回 XMLコンソーシアム Week 第4日  2003年 5月29日	1) 「プロジェクト概要」 2) 「システム概要とシステムモデル説明」 3) 「EXCEL による季節情報登録 Web サービスの実装」 日本ユニシス株式会社 4) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における集配信システムの開発」 日立ソフト株式会社 日本オラクル株式会社 5) 「日本観光協会 Web サービス実証実験におけるスキーポータルサイトの開発」 株式会社日立製作所 6) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における Java 対応携帯電話ポータルサイトの開発」 日本電気株式会社 7) 「Web サービスのポータルサイト適用と PDA 応用 - 花見観光支援を題材に - 」 富士通株式会社 応用技術部会/PDA-WG 8) 「日本観光協会 Web サービス実証実験におけるスキーポータルサイトの開発」 株式会社日立製作所 9) 「日本観光協会 Web サービス実証実験における Web サービス WG の取り組み」 応用技術部会 Web サービス WG	東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 49社 112名 非会員: 37社 41名 合 計: 86社 153名
第2回 XMLコンソーシアム Week 第5日  2003年 5月30日	1) 「WS-I の活動の紹介」 富士通株式会社 成田 雅彦 様 日本電気株式会社 藤田 悟 様 株式会社日立製作所 大場 みち子様 富士通株式会社 沼田 利典 様 株式会社ビーコンIT 岩本 幸男 様 株式会社野村総合研究所 戸田 隆一郎様 SAP ジャパン 余 常昭 様 日本オラクル株式会社 鈴木 俊宏 様 2) 「Web サービスにおける相互接続実証への取り組み」 株式会社日立製作所 松永 和男 様 サン・マイクロシステムズ株式会社 石原 直樹 様	箱崎:日本アイ・ピー・エム 会 員: 34社 51名 非会員: 10社 10名 合 計: 44社 61名

	3) 「ebXML 相互接続テスト」 ECOM(電子商取引推進協議会)ebXML 相互運用 SWG、株式会社 NTT データ 高梨 智介 様	
	4) 「『XML マスター』の価値」 XML 技術者育成推進委員会副会長 インフォテリア株式会社 平野 洋一郎 様	
第2回 XML コンソーシアム Week 第6日	1) 「NewsML を活用した記事検索 Web サービス Vol.2」 P F U アクティブラボ株式会社 松山 憲和 様	豊洲:NTT データ 会 員: 30 社 46 名 非会員: 13 社 13 名 合 計: 43 社 59 名
	2) 「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」 ミノルタ株式会社 上田 隆司 様	
2003 年 6 月 2 日	3) 「応用技術部会 セキュリティ WG 活動報告 XML Signature、XML Encryption の実装」 沖電気工業株式会社 池上 勝美 様 日本テレコム株式会社 山口 英子 様 リコーシステム開発株式会社 小堀 真義 様	
	4) 「応用技術部会 セキュリティ WG 活動報告 - SAML の実装」 株式会社 NTT データ 坂田 祐司 様 株式会社日立製作所 坂田 匡通 様	
	5) 「パネルディスカッション:私の考える日本再生と XML」 株式会社大塚商会 岡部 恵造 様 株式会社ジャストシステム & 法政大学 野村 直之 様 沖電気工業株式会社 藤岡 慎弥 様 日本オラル株式会社 鈴木 俊宏 様(モデレータ)	
第5回 XML コンソーシアム Day 第1日	1) 「企業戦略のイネーブラーとしての Web サービス」 日本 IBM 株式会社 丸山 宏 様 (XML コンソーシアム エバンジェリスト)	東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 59 社 89 名 非会員: 25 社 28 名 合 計: 84 社 117 名
	2) 「Service Oriented Architecture 概説」 部会リーダー 牧野 友紀 様 (日本ユニシス株式会社) 日本 IBM 株式会社 天野 富夫 様 (Web サービス WG リーダー)	
2004 年 1 月 22 日	3) 「XML2003 カンファレンス & 展示会 参加報告 - XML ソリューションと Web サービスの最新動向」 XML コンソーシアム エバンジェリス 岡部 恵造 様 (大塚商会 OASIS 日本代表)	
	4) 「旅行業界の商取引向けXML標準「TravelXML 1.1」の開発状況」 株式会社 NTT データ 遠城 秀和 様 (TravelXML 部会リーダー)	
	5) 「TravelXML を利用した Web サービス実証実験について」 株式会社日立製作所 大場 みち子 様 (部会サブリーダー)	
	6) 「音声ポータル実証実験の中間報告」 沖電気工業株式会社 渡辺 聡 様 (アプリケーション検討WGリーダー) 「VoiceXML における日本語利用ガイドライン」 株式会社日立製作所 鯨井 俊宏 様 (部会リーダー)	
第5回 XML コンソーシアム Day 第2日	1) 「用語集オントロジーの試み」 株式会社リコー 野村 直之 様(セマンティック WebWG リーダー) 日本ユニシス株式会社 小林 茂 様 (部会サブリーダー)	豊洲:NTT データ 豊洲センタービル 会 員: 46 社 65 名 非会員: 15 社 18 名 プレス: 1 社 1 名 合 計: 62 社 84 名
	2) 「XML テクノロジー通信と技術マップ」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀 様 (部会リーダー) NTT ソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様 (部会リーダー)	
2004 年 1 月 23 日	3) 「NewsML1.2 と ProgramGuideML」 イースト株式会社 藤原 隆弘 様 (NewsML-WG リーダー)	
	4) 「NewsML 地域コード変遷管理」 株式会社富士通研究所 小田切 淳一 様 (DB-WG) Sky 株式会社玉川 竜司 様 (DB-WG)	
	5) 「マルチメディアとメタデータ」 NTTソフトウェア株式会社 奥山 信輔 様 (部会リーダー) 「スタイル言語とその活用方法 ~XBRL を PDF にしてみよう~」 ネクストソリューション株式会社 加藤 上直 様( 複合コンテンツ WG サブリーダー)	
	6) 「応用技術部会 セキュリティWGの取り組み」 日本テレコム株式会社 山口 英子 様 (セキュリティ WG リーダー)	
第3回 XML コンソーシアム Week 第1日	1) 「オープニング」 XML コンソーシアム会長 鶴保 征城 様	豊洲:NTT データ 会 員: 46 社 91 名 非会員: 20 社 25 名 プレス: 1 社 2 名 合 計: 67 社 118 名
	2) 特別講演「SOA が加速する e-コラボレーション」 XML コンソーシアム理事 (株)NTT データ技術開発本部副本部長 山本 修一郎 様	
2004 年 5 月 17 日	3) 特別講演「SOA はなぜ必要か、なにが変わるか」 XML コンソーシアム エバンジェリスト 日本アイ・ピー・エム(株) 米持 幸寿 様	
	4) 「SOA と Web サービスへのユーザ対応の一考察」 テクノロジー部会 Web サービス WG 倉沢 良明 様(キヤノン) 芦田 尚人 様(レイニーワークス)	
	5) 「SOA 実現化の考察」 テクノロジー部会 Web サービス WG 牧野 友紀 様(日本ユニシス)	
	6) 「SOA とワークフロー」 テクノロジー部会 Web サービス WG	

	<p>天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム)</p> <p>7) 「BPEL4WSを適用したプロジェクト事例紹介」 テクノロジー部会 Web サービス WG 坂下 秀彦 様(JIEC)</p> <p>8) BOF「SOA ってどうなの?」～SOAの未来～ パネラー:インフォテリア 江島 健太郎 様 XML テクノロジー部会 Web サービス WG 倉沢 良明 様(キヤノン) 坂下 秀彦 様(JIEC) 天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム) 牧野 友紀 様(日本ユニシス) モデレータ:XML テクノロジー部会 Web サービス WG 芦田 尚人(ブレインワークス)</p>	
<p>第3回 XML コンソーシアム Week 第2日</p> <p>2004年 5月18日</p>	<p>1) 「Grid/WS-RF とビジネスプロセスの統合」 稚内北星学園大学学長 丸山 不二夫 様</p> <p>2) 「WS-I Basic Profile 解説」 WS-I JSIG メンバー 藤田 悟 様(NEC) 沼田 利典 様(富士通)</p> <p>3) 「WS-I Testing Tools 解説」 WS-I JSIG メンバー 戸田 隆一郎 様(野村総研) 岩本 幸男 様(ビーコンIT)</p>	<p>豊洲:NTT データ 会 員: 33社 47名 非会員: 8社 8名 合 計: 41社 55名</p>
<p>第3回 XML コンソーシアム Week 第3日</p> <p>2004年 5月19日</p>	<p>1) 「メタデータ、SemanticWeb のアプリ動向」(セマンティック Web その1) XML テクノロジー部会 セマンティック Web WG 野村 直之 様(リコー)</p> <p>2) 「用語集オントロジからメタデータ活用へ」(セマンティック Web その2) XML テクノロジー部会 セマンティック Web WG 小林 茂 様(日本ユニシス) 野村直之 様(リコー)</p> <p>3) 「XBRL2.0 技術内容の解説」 XML テクノロジー部会 複合コンテンツ WG 加藤 上直 様</p> <p>4) 「テクノロジー-MAP」 XML テクノロジー部会 芦田 尚人 様(ブレインワークス) 斉藤 幸則 様(富士電機情報サービス) 山本 浩一 様(NTT ソフトウェア) 坂下 秀彦 様(JIEC) 岡村 和英 様(ネット・タイム) 加藤 上直 様 牧野 友紀 様(日本ユニシス) 天野 富夫 様(日本アイ・ピー・エム)</p>	<p>田町:日本電気 本社ビル 会 員: 29社 43名 非会員: 13社 15名 プレス: 1社 1名 合 計: 43社 59名</p>
<p>第3回 XML コンソーシアム Week 第4日</p> <p>2004年 5月20日</p>	<p>1) 「旅行業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.1.1 - の開発状況」 TravelXML 標準化部会リーダー 遠城秀和 様(NTT データ)</p> <p>2) 「TravelXML を利用した Web サービス実証実験」 応用技術部会 Web サービス WG リーダー 松山 憲和 様(PFU アクティブラボ)並びに関係者 実証実験参加企業 アドソル日進 インフォテリア 東京エレクトロン 東芝ソリューション 日本アイ・ピー・エム 日本アイオナテクノロジーズ 日本オラクル 日本電気 日本ユニシス 日本ユニシス・ソフトウェア ネット・タイム PFUアクティブラボ 日立システムアンドサービス 日立製作所 ブレインワークス</p>	<p>飯田橋:大塚商会 本 社 会 員:30社 62名 非会員: 5社 8名 合 計:35社 70名</p>
<p>第3回 XML コンソーシアム Week 第5日</p>	<p>1) 「VoiceXML 最新動向紹介」 VoiceXML 部会 技術検討 WG 鯨井俊宏 様(日立)</p>	<p>箱崎:日本アイ・ピー・エ ム 会 員: 23社 40名</p>

2004年 5月24日	2) 「音声ポータル実証実験の最終報告」 VoiceXML 部会 アプリ検討 WG 渡辺 聡 様(沖電気)	非会員: 11社 18名 合 計: 34社 58名
	3) 「VoiceXML をベースとした頑強な音声対話管理アーキテクチャ」 VoiceXML 部会マルチモーダル WG 大淵 康成 様(日立製作所)	
	4) 「XML 関連セキュリティ規格の解説」と「SAML, XML Signature, XML Encryption の実装事例」 応用技術部会セキュリティWG(50音順) 池上勝美様(沖電気工業) 上田隆司様(コニカミノルタビジネステクノロジーズ) 岡村和英様(ネット・タイム) 河村博文様(ロココ) 坂田匡通様(日立製作所) 道村唯夫様(富士ゼロックス) 山口英子様(日本テレコム)	
	5) 「PDA への P2P プロトコル実装 - JXTA について -」 応用技術部会 PDA WG リーダ 的場和男様(コニカミノルタビジネステクノロジーズ)	
第6回 XML コンソーシアム Day 1 日目 2005年 1月13日	1) 「ビジネスインベーション研究部会と SOA 部会活動のご紹介」 株式会社ブレインワークス 芦田 尚人様	東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 43社 75名 非会員: 17社 19名 プレス: 2社 2名 合 計: 62社 96名
	2) 「SOA のパターンとベストプラクティス」 日本アイ・ピー・エム株式会社 天野 富夫様	
	3) 「販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告」 キヤノン株式会社 倉沢 良明様	
	4) 「サプライチェーンの付加価値向上のための SOA ベースモデリング」 ウルシステムズ株式会社 林 浩一様	
	5) 「ビジネスプロセスのモデル記述」 日本ユニシス株式会社 牧野 友紀様	
	6) 「旅行業業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.2.1 - の開発状況」 株式会社 NTT データ 遠城 秀和様	
	7) 「セキュリティ部会の取り組み - セキュリティ関連 XML 規格の解説」 株式会社 ネット・タイム 岡村 和英様	
第6回 XML コンソーシアム Day 2 日目 2005年 1月14日	1) 「愛知万博における道路交通情報を利用した複合 Web サービス実証実験」 東京エレクトロン株式会社 松永 豊様	東品川:日立ソフトウェアエンジニアリング 会 員: 40社 68名 非会員: 18社 20名 合 計: 58社 88名
	2) 「愛知万博 Web サービス実証実験 RSS 連携サブシステムについて」 株式会社リコー 野村 直之様 日本ユニシス・ソリューション株式会社 小林 茂様 株式会社フジミック 大坂 哲司様 Sky 株式会社 玉川 竜司様	
	3) 「SNS, Blog etc.上の virtual メタデータ活用部会の活動報告」 沖電気工業株式会社 上田 俊夫様 日本ヒューレット・パカード株式会社 市川 恵貴様	
	4) 「XML DB 活用の最近の動向」 日本オラクル株式会社 金井 盛隆様	
	5) 「ユビキタス・組み込み系部会の活動」 株式会社ジャストシステム 大野 邦夫様	
	6) 「ユビキタス時代の個人情報活用」 日本電気株式会社 林 雄代様	
	7) 「ユビキタス時代の社会インフラとしての LBS」 株式会社 KDDI 研究所 高木 悟様	

## 2. 部会活動成果

### (1) SOA 部会

#### 部会ミーティング

BI 研究部会と共催で 2004 年 7 月-2005 年 5 月まで毎月 1 回、計 11 回開催

#### 主な議論のテーマ

SOA の普及啓発

SOA に関わるデザインパターンの調査・研究

#### 成果発表(BI 研究部会と共同)

第6回 XML コンソーシアム Day(2005 年 1 月 13 日)でのプレゼンテーション

SOA のパターンとベストプラクティス

販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告

サプライチェーンの付加価値向上のための SOA ベースモデリング

XML コンソーシアムセミナー(2004 年 9 月 15-17 日)でのプレゼンテーション

ユーザ企業にとっての IT -Web サービス、SOA の意義と対応への一考察

Web サービス活用の実際

SOA 概説

#### 他団体と協調しての普及・啓発活動

モデリングフォーラム(2004 年 9 月 21 日)講演:モデルとパターンで実現する SOA

UML フォーラム 2005(2005 年 4 月 26 日)パネル討論会:XML + UML = Business

情報処理学会誌 連載 Web サービスの編集・執筆

#### 成果物

XML コンソーシアム編集の書籍「リアル Web サービス」執筆への協力(座談会、規格解説、SOA 概説等)

SOA の普及啓発のための解説書

コンソーシアム Day やセミナーでのプレゼン発表資料(Web で公開)

SOA のパターンとベストプラクティス

販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告

サプライチェーンの付加価値向上のための SOA ベースモデリング

ユーザ企業にとっての IT -Web サービス、SOA の意義と対応への一考察

Web サービス活用の実際

SOA 概説

### (2) セキュリティ部会

#### 目的

XML セキュリティ技術のビジネスシステムへの適用に向けて、規格の調査・翻訳・解説を行ない、また、アプリケーションモデルの検討・試作を通じてシステム構築における様々な問題点の解決方法や具体的な実装ノウハウを蓄積すると共に、それらの成果物を公開することによりセキュリティ技術の普及を促進させるべく活動を行なう。

#### 活動内容

標準規格文書の翻訳、公開

- OASIS Web Services Security: SOAP Message Security V1.0 (WS-Security 2004)

標準規格及び関連技術の調査と解説資料作成

- Web Services Security

- SAML 2.0

- セキュリティ関連 XML 標準技術規格マップの更新

開発ツール、ミドルウェア等の調査および比較検討

- WS-Security 2004 のサポート状況

#### 活動期間

2004 年 7 月 ~

#### 成果物

日本語翻訳

- 2005.03.31

OASIS Web Services Security: SOAP Message Security V1.0 (WS-Security 2004)

コンソーシアム主催セミナーでの発表

- 2004.12.02

関西での活動を盛りあげよう集会

- 「Web サービスのセキュリティ」
- 2005.01.13  
コンソーシアム Day  
「セキュリティ部会の取り組み - セキュリティ関連 XML 規格の解説」
- 2005.06.07(予定)  
コンソーシアム Week  
「セキュリティ関連 XML 規格の紹介」  
「Web Services Security の概要と今後の状況」  
「WSS の実装状況について」  
「Web サービス認証とサイト間連携認証 ~ SAML V2.0」

### (3) Web サービス実証部会

#### 活動目的

WebサービスおよびXMLを実システムに適用するにあたり、実ビジネスを想定したプロトタイプシステムの開発を通して、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見、公開し、XML/Webサービス利用技術の向上および普及に努める。

#### 活動内容

- プロトタイピング
  - 実用システムのプロトタイプ開発
  - XML応用規格を利用したプロトタイプシステム開発
- XML/Webサービス関連プロダクトの評価
- XML/Webサービス応用技術の普及・推進
  - 定例セミナー・総会等での発表
  - 学会、雑誌等での発表
  - Webページによる情報の発信
  - 製品紹介セミナーの開催

#### 活動期間

2004年6月 ~ 2005年5月

#### 成果物

##### 実証実験関係

- メタデータ活用部会と共同で、『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験』を実施

##### イベント関係

- 2004年10月:ITS世界会議における実証実験システムを展示
- 2005年5月:ビジネスショウで実証実験システムを展示

##### セミナー発表関係

- 2004年9月:観光とITに関する調査研究委員会にて、『TravelXMLを利用した Web サービス実証実験』デモを実施。
- 2004年12月:「XMLコンソーシアム関西での活動を盛りあげよう集会」
- 2005年1月:XMLコンソーシアム Day にて活動報告
- 2005年2月:Developer Summit2005 でセミナーを開催

本音で語るWebサービス実装の光と影 ~ 実証実験を通して見えてきた Web サービスの正体 ~

- 2005年2月:(財)日本道路交通情報センター XML/Web サービス関連セミナー
- 2005年5月:ビジネスショウで『道路交通情報 Web サービスを使った複合 Web サービス実証実験』を発表

##### 報道発表

- 2004年10月:プレスリリース;XMLコンソーシアム、道路交通情報 Web サービスと連携した複合 Web サービスに関する実証実験に成功 ~ 「ITS世界会議愛知・名古屋2004」 - 展示会 - にて実証実験デモを展示 ~ 学会、雑誌等での発表

##### 学会、雑誌等での発表

- 2004年7月:日経コンピュータ:『TravelXMLを利用した Web サービス実証実験』
- 2004年7月:情報処理学会デジタル・ドキュメント研究会(電子情報通信学会オフィスインフォメーションシステム(OIS)研究会合同開催)
- 2005年2月:『月間ニューメディア』OMURA Special 広告記事

### (4) メタデータ活用部会

#### 扱ったテーマ:

- iPlat 愛知万博プロジェクト・サブシステムの構想、設計、開発
  - ~ Blog 連携、動画 RSS 視聴、SAF 携帯画像リアルタイム投稿 & 活用
- SemanticWeb の Trust を実現するモデルについて
  - ~ RDF 共有ブックマークを使用した RDF 情報の信頼性表現モデル
- Semantic Search、視覚化のためのメタデータ活用

ブログ/SNSの技術、運用モデル、ビジネスモデル(例:マーケティング、複数団体協業)  
ATOM/RSSとCMS (Contents Management System)  
放送・出版業界で最近注目されるメタデータ標準の概要と分析  
~ J/ Meta, MXF, OAI-PMH

活動形態・経緯:

2回の部会紹介セミナー, 活動内容希望アンケートの実施  
11回の定例部会開催, ほぼ毎回の新人歓迎  
SNS、eGroupsを活用した日常の議論と情報・アイデア交換  
XML コンソーシアム・セミナー2回、外部セミナー1回の新規内容を主担当で企画、実施  
- 7/14 「ユビキタス情報環境におけるメタデータ活用」  
- 2/7 PAGE2005「メタデータ活用による次世代コンテンツ流通促進のためのXML標準規格と基盤ソフトウェア」  
- 3/14 「XMLデータベース徹底研究」  
iPlat 開発、評価、運用 (含むコンテンツ作成、編集)

## (5) ユビキタス・組み込み系部会

活動経過

昨年発足した当部会は、2004年度はXML技術がユビキタスコンピューティング、ユビキタスネットワークにどのように関わり得るかをモチベーションに、技術、市場、社会、家庭、人間といった幅広い分野を対象に、現状、歴史、未来を包含する調査研究活動を行ってきた。

技術的には、ICタグ、携帯電話、デジタルTV、カーナビといったハードウェア、無線や家庭におけるネットワーク、個人情報管理、新時代のインタフェース、高齢化社会などの問題を内外の講師を呼んでヒアリングを行った。具体的なテーマは下記のとおりである。

第一回部会(2004.7.23)  
部会の概要説明  
汎用リモコンについて  
第2回部会(2004.8.27)  
モデリングWG・デジタルTV WG  
音声とユビキタス  
ユビキタスネットワーク社会とLBS  
第3回部会(2004.9.22)  
個人情報とプレゼンス活用について  
ITSについて  
ユビキタスとスタートレック  
第4回部会(2004.11.24)  
ユビキタス空間への取り組み  
x/yテクノロジーの紹介  
第5回部会(2004.12.16)  
内田洋行ショールーム見学(ユビキタスオフィス)  
電子タグの動向とソリューション  
第6回部会(2005.1.16)  
トッパン・フォームズRFIDショールーム見学  
RFIDへの取り組み  
第7回部会(2005.2.24)  
ユビキタス環境標準化への考察  
第8回部会(2005.3.24)  
デジタルTVとユビキタス  
ネットワークAV機器へのオントロジ適用の検討  
ヒトナビ情報共有化の提案  
第9回部会(2005.4.19)  
高齢者向け予防介護プロジェクトの紹介  
第9回部会(2005.5.18)  
YRPユビキタス研究所の活動紹介

## (6) ビジネス・イノベーション研究部会

部会ミーティング

SOA部会と共催で2004年7月-2005年5月まで毎月1回、計11回開催

主な議論のテーマ

ビジネスプロセス・モデリング手法  
ビジネスイノベーション実現におけるITの役割

#### プロジェクト立ち上げ

「ビジネスプロセス記述とサービス設計の試行」プロジェクトの開始(2005年度継続)

2005/3開始。部会内プロジェクト。メンバー10名弱。ビジネスプロセス・モデル作成ノウハウ、サービス化手法確立が目的。

・・・販売管理業務をテーマに、ビジネスプロセス・モデルを作成し、そのモデルからSOAにおけるサービスを設計する一連のプロセスを試行。

#### 成果発表(SOA部会と共同)

第6回XMLコンソーシアムDay(2005年1月13日)でのプレゼンテーション

販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告

ビジネスプロセス・モデリングに関する調査報告

#### 他団体と協調しての普及・啓発活動

UMLフォーラム2005(2005年4月26日)パネル討論会:XML+UML=Business

#### 成果物

販売管理業務をテーマにしたビジネスプロセス・モデル

コンソーシアムDayやセミナーでのプレゼン発表資料(Webで公開)

販売管理業務を題材にしたビジネスプロセス分析報告

ビジネスプロセスのモデル記述

### (7) ContactXML 部会

#### 目的

ContactXML仕様に関する制定・開発・情報公開・情報交換等のContactXML仕様の普及・啓蒙活動を行う

ContactXML仕様を活用したビジネスへの後方支援を行う

#### 活動内容

ContactXML仕様の開発・制定・標準化

ContactXMLの適用研究・事例収集

ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会及び「ContactXML.org」(ポータル・メーリングリスト)の運営

ContactXML仕様の普及・啓蒙活動

上記全成果物のXMLコンソーシアムへのフィード・バックと承認申請

#### 活動期間

2002.1～

#### 成果物

##### 標準

- ContactXML Version 1.1a 仕様
- ContactXML Version 1.1 仕様
- ContactXML Version 1.0 仕様

### (8) TravelXML 標準化部会

#### 活動目的

旅行者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関との間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報のXMLによる標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

#### 活動内容

TravelXML標準案作成(作成WG)

- 旅行業界における商取引についての調査と要件把握
- 旅行業界における商取引のXMLによる標準化案作成

TravelXML標準の普及・啓蒙(普及WG)

- 実装検証・評価
- Webページ等による情報の発信
- XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

#### 活動期間

2003.2～

成果物

標準

- TravelXML Version 1.2.1 仕様
- TravelXML Version 1.3 仕様

報道発表

- 2004.8.24  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.2」勧告案を発表  
～標準化の第2フェーズを開始、扱うビジネスの範囲を拡大～
- 2004.11.30  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.2.1」勧告を発表  
～標準化の第2フェーズを開始、扱うビジネスの範囲を拡大～
- 2005.1.31  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」で共同開発した TravelXML の企業間商取引の実運用での利用が開始
- 2005.3.2  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」(旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.3」勧告案を発表  
～標準化の第2フェーズの開発を終了、パブリックレビューを開始～
- 2005.3.12  
「日本旅行業協会」と「XMLコンソーシアム」旅行業界における電子商取引の標準「TravelXML 1.3」勧告を発表  
～標準化の第2フェーズを完了し、今後は普及活動を中心に活動～

コンソーシアム Day/WEEK での発表

- 2004.5.20  
旅行業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.1.1 - の開発状況
- 2005.1.13  
旅行業界の商取引向け XML 標準 - TravelXML 1.2.1 - の開発状況

## (9) コンテンツ利用情報標準化部会

活動目的

著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報の XML による標準化提案を目指します。

活動内容

- コンテンツ利用情報 XML 標準案作成(作成 WG)
  - コンテンツ利用情報対象業務についての調査と要件把握
  - コンテンツ利用情報の XML による標準の改善
- コンテンツ利用情報 XML の普及(普及 WG)
  - Web ページ等による情報の発信
  - XML コンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

活動期間

2003.2～

成果物

標準

- ContentsBusinessXML Version 1.0 仕様

## (10) 関西活動準備プロジェクト

活動目的:

関西において XML コンソーシアム部会活動を行うことが可能かの参加企業の意思を調査する。参加企業により会員企業にとって意味ある活動内容をまとめる。更に、部会設立時にスムーズな活動が行えるようテーマを設定し現段階で活動を実施し、拠点を確立する。

活動内容:

- 参加企業調査会合の企画、実施
- XML コンソーシアム 関西での活動を盛りあげよう集会(12月2日)
- 活動内容の検討
- 2005年1月より月次 Meeting
- XML の関西における活用状況調査
- 事例の集約
- Web サービス実装技術習得

仮想システム構築  
参加者による情報共有  
部会発足時の活動内容検討  
XML の関西における活用状況調査  
Web サービス実装  
関西における外部団体との合同研究

活動期間

2004年12月～

成果物

関西部会活動要綱  
Web サービス実装報告  
XML 活用事例

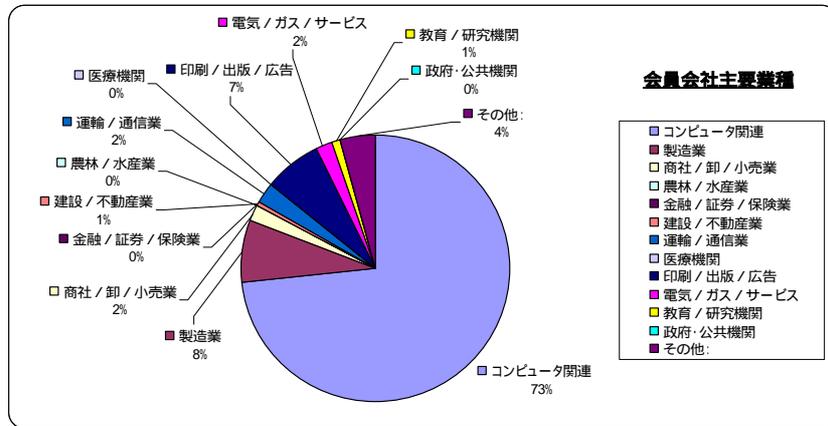
以上

### 3. XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果

#### (1) 2004 年度 XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果

実施期間:2005年2月28日~3月15日 回収総数:165件/202会員 81.7%

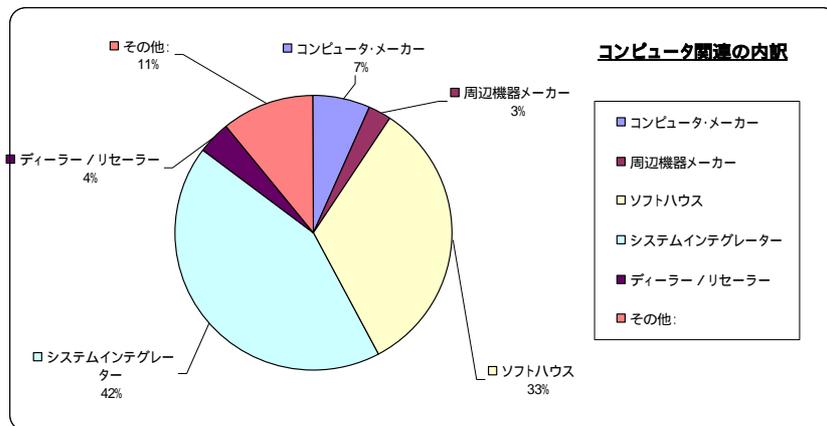
#### 1. 主要業種



その他:

- ・旅行
- ・インターネット広告、ISP
- ・情報処理
- ・気象業務
- ・マスコミ・サービス
- ・XMLコンテンツ制作、XML関連ソリューション開発、e-learningコンテンツ制作、自動組版処理システム開発
- ・電機メーカー

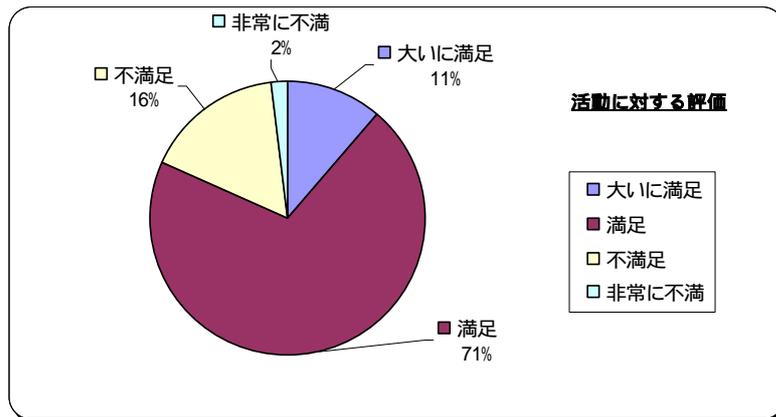
#### 2. コンピュータ関連の内訳



その他:

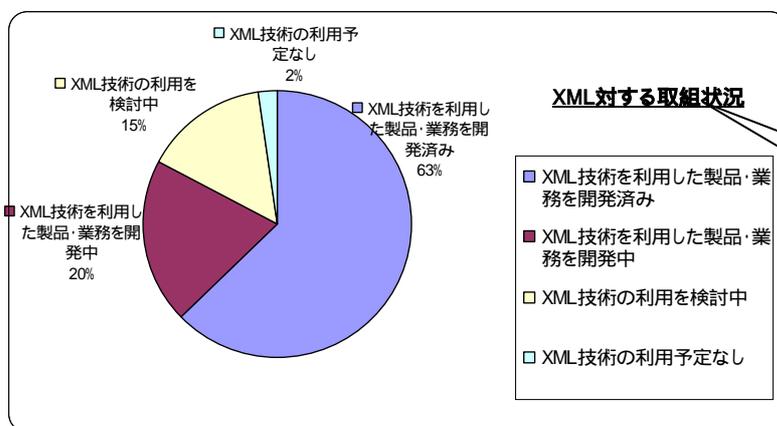
- ・ソフトウェアベンダー
- ・ITコンサルティング
- ・ソフトウェア・メーカー
- ・電子文書に特化した研究開発
- ・ソフトウェアベンダー
- ・ソフトウェア販売
- ・ISV
- ・情報処理
- ・教育
- ・通信機器ハード/ソフト
- ・パッケージベンダ
- ・機器製造部門もあるソフトウェアベンダー
- ・ウェブ・インテグレーション、情報処理、音声・動画系コンテンツ関連

### 3. XMLコンソーシアムのこれまでの活動に対する評価



### <XML 普及度アンケート>

### 4. XML に対する取り組み状況



前回調査に比べ、開発済み、開発中増加！  
 開発済み : 53% 63%  
 開発中 : 19% 20%

製品・業務を開発済み 製品・業務名:

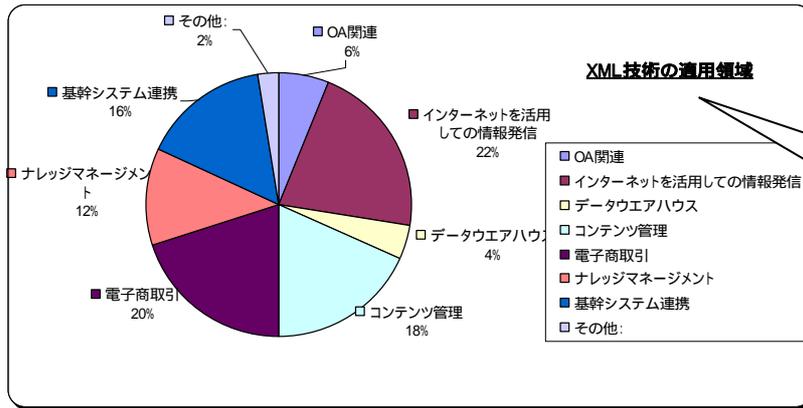
- ・BTONIC、BizPal、NewsBOX、GeOAP など
- ・ASTERIA、iPEX、iMaker
- ・モバイル・キャスター
- ・xfy、GrowVison
- ・WebSphere Application Server、 WebSphere Studio ファミリー、 Host Access Transformation Services、 WebSphere Transcoding Publisher、 WebSphere Translation Server、 WebSphere Voice Server、 WebSphere Business Integration Adapter、 WebSphere Business Integration Brokers、 WebSphere Business Integration Server Foundation、 WebSphere Business Integration Modeler、 WebSphere Business Integration Message Broker、 WebSphere MQ、 WebSphere Commerce、 WebSphere Information Integrator DB2 Universal Database for Linux、 Unix and Windows、 DB2 Universal Database、 Content Manager ファミリー、 Lotus Notes/Domino、 Lotus Learning Management System、 WebSphere Portal、 IBM Rational Application Developer for WebSphere Software、 IBM Rational Professional Bundle、 IBM Rational Software Architect、 IBM Rational Software Modeler、 IBM Rational Web Developer for WebSphere Software、 IBM Rational Rose XDE Developer、 IBM Rational Suite、 IBM Rational Team Unifying Platform、 IBM Rational Unified Process、 IBM Rational Professional Bundle、 IBM Rational Software Modeler、 IBM Rational Rose Data Modeler、 IBM Rational Rose XDE Modeler、 Tivoli Identity Manager、 Tivoli Access Manager 等
- ・Oracle Database 10g、 Oracle Application Server 10g、 Oracle JDeveloper 10g
- ・XiRUTE、PolarLake、CosaDenta
- ・Cosminexus Application Server、 Cosminexus Interschema、 EUR Form、 COBOL2002 他
- ・社内システム他多数
- ・Interstage 製品群、など 多数の製品にて基盤技術として採用
- ・eXtran、 eXform、 その他個別案件多数
- ・Epic Editor、 Styler、 E3 publishing engine、 DTD architect、 Contributor、 DCAM
- ・文書管理閲覧システム
- ・インタフェース開発受託サービス
- ・formlet
- ・IntelliVoice TE
- ・Mighty、 XML Solutions、 XSDConstructor
- ・不動産物件登録システム
- ・DataSpider シリーズ
- ・ダイナミックにPDFを公開する仕組み。その他プログラム間通信のフォーマットはXML
- ・製品、お客様システム等、多種に及ぶと想われます。

- ・ワークフローシステム
- ・DocuDyne
- ・企業間の商取引システム構築
- ・チーオーリポーツ、ReportsStation
- ・システムインテグレーターとして使用
- ・BMASstudio ・ BMA オンラインサービス
- ・例：エンタープライズ RIA ソリューション
- ・電子行政、自治体ソリューション
- ・旅客業務アプリケーション他
- ・Sententia(文書管理)
- ・気象データのXML化(社内解析および顧客配信)
- ・EDIAN、EDICOLOR
- ・コンシューマ：筆まめ、システム開発：多数
- ・JRグループ用なので公開していません
- ・基盤レベルの機能構築に適用。業務AP内組み込み。
- ・記事の送受信システム
- ・Webアプリケーション、Webサービス
- ・i-wave、イグドラシル
- ・ストレス診断システム他
- ・Karearea
- ・日々生産中
- ・Sonic ESB/SonicMQ/他
- ・FileXML(製品)
- ・ViewMaker for Web
- ・ハンディトラスト
- ・ACMS B2B
- ・Stylus Studio・XML エディタ
- ・XMPドキュメント制作マネージメントシステム、SCORM対応のe-learningソリューション
- ・授業にて実践中：技術者育成
- ・DataPower XA35 XML アクセラレータ、DataPower XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ
- ・CrossMission
- ・Web、CD-ROM、電子辞書などのコンテンツ制作に利用
- ・電子文書管理・RFIDミドルウェア
- ・現場名人
- ・Voizi
- ・Artix
- ・WebSphere AS
- ・WebLogic 製品
- ・音声認識エンジン Nuance
- ・DSSSLPrint, NextPublisher, etc...
- ・Nsure Identity Manager, Novell exteNd
- ・オクトパスキューブ
- ・ConfigProV2.1
- ・XMLコンバータ、ConfigProV2.1
- ・Tamino, XurasInicio, Xuras Workflow, Extes Xuras, SI 案件全般
- ・CXML利用のEC
- ・Solution Menu にて利用
- ・QMSによるプロジェクト管理
- ・データ交換のためのデータ記述で、いろいろなシステム利用
- ・FLIGHT Contents Manager
- ・XRF Series
- ・リザプリ配信サービス
- ・XML データベース NeoCore
- ・Blog 構築サービス、RSS 作成サービス
- ・XMLDB EsTerra, Yggdrasill
- ・MetWorks (XML 自動組版システム)
- ・携帯端末向け XML Web サービスゲートウェイ

XML 技術の利用予定なし 理由：

- ・社をあげてというレベルに至っていないため
- ・ニーズがない
- ・社内に XML が普及していない

## 5. XML 技術の適用領域として適するもの( 複数選択)



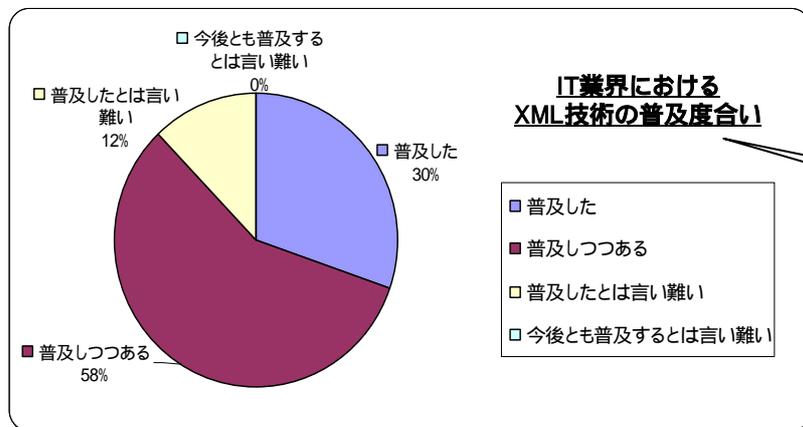
インターネット情報発信、電子商取引、コンテンツ管理、基幹システム連携の4つで76%  
前回調査に比べ、割合に大きな変化なし

その他:

- ・システム開発技法への展開
- ・企業間でのデータ交換フォーマット
- ・多岐に渡ると想われます。
- ・UML でなく、XML を使用したアプリケーション定義による、Web アプリの自動生成
- ・GRID
- ・機器制御
- ・フレームワーク中の定義ファイル等
- ・分野によらず、あらゆる情報の内部表現手段
- ・システムの環境等
- ・XML の使用が可能な(許容できる)あらゆる環境においての情報表現
- ・情報管理の必要なあらゆる分野
- ・いろいろ
- ・印刷物制作

## 6. 日本における XML 技術の普及度合い

### (1) IT 業界における XML 技術の普及度合い

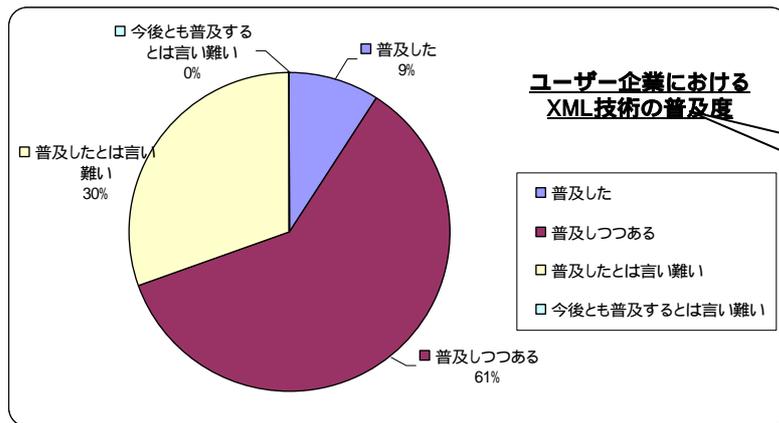


普及した + 普及しつつある  
88%!  
前回調査:81%

普及したとは言い難い 理由:

- ・コンテンツとして使われているケースは非常に少ない。
- ・ユーザーには普及していない
- ・実行環境での性能問題、用途の限定(他言語併用が必須)
- ・中堅業種ソリューションに展開できていない
- ・技術者があまりいない
- ・使われているものの、目に見えないために認知されていない
- ・XML 技術者の絶対数がなお少ない。
- ・一般化したとは言えない
- ・認知度が低い
- ・現場ではまだまだ XML や Web サービスはいつから使えばいいのかという人がラインの管理者に多い。
- ・一部を除き、標準化等も進んでいないのでは?
- ・周りを見ても、まだこれからという感じがする
- ・実例がもっとあれば普及したと言えるのでは思っております。
- ・知名度の割りに定義情報以外は使用されていない
- ・BtoB 連携の成功事例は依然として少ない。

## (2) ユーザー企業における XML 技術の普及度合い



普及したとは言い難い 理由:

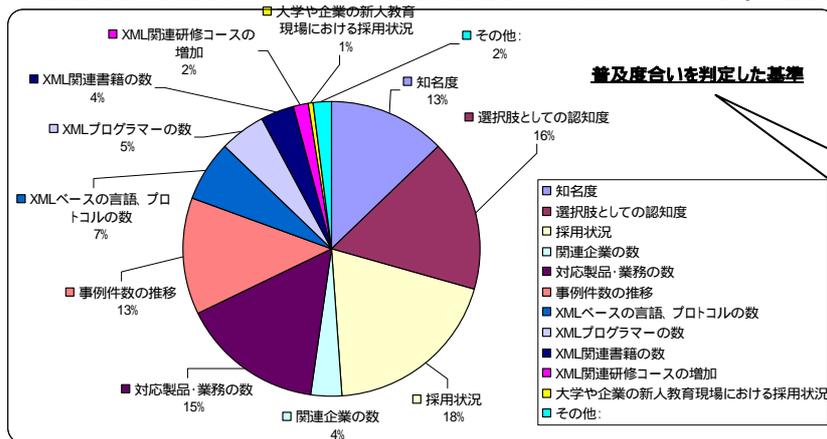
- ・旧システムがたくさん動いている
- ・利用することによって企業の利益に結びつくという印象がない。
- ・使い勝手がわるく、ユーザーフレンドリーとはいえない
- ・Web サービスの普及次第
- ・利用分野によるが、取り扱いが面倒なので利用者が少ない
- ・ユーザー企業様に於いては XML を使うのが重要な訳ではないと想います。
- ・結果的に利用しているとしても、ユーザーが XML 技術を理解して、その技術の必要性を感じて導入しているケースはほとんどないと

思い

ます

- ・XML を用いることで効果が発揮できるところに適用されていない
- ・ユーザからの積極的要求がでてきていない、どちらかと言えばベンチャー主導。
- ・先進企業はさておき、基幹業務のコア技術とはいいいがたいのではないか。
- ・BtoB での普及が遅れている
- ・BtoB での XML でのデータ交換がごく希である
- ・プログラマ的にハードコーディングで利用されているケースが多い、メリットがまだわからない人がたくさんいる
- ・名前しか知らない人が多い
- ・有効な活用事例をまだ見いだせない状態が続いているように思われる。
- ・XML 自体のパフォーマンスに問題があり、本格導入は進んでいないと思われる
- ・いまいち
- ・実運用の事例がまだまだ少なく、業種、業界に閉じた形の利用である。
- ・まだ事例が少ないように思う。
- ・データ構造の見直しにかかる費用対効果が見えづらい。
- ・BPR やデータの整理をしなくても XML 化すれば何とかなんと勘違いしている人が多すぎる。
- ・技術者不足
- ・XML であってもよいという感じ。必然ではない
- ・EXCEL 等にも搭載されているが、利用できていない
- ・ユーザが利用するシステム内部では XML 技術が利用されている場合があるが、ユーザが目にする部分やユーザ自身が意識して XML 技術を採用しているわけではないから。
- ・現場の開発業務に忙殺されて新たな技術の導入の機会が少ない。
- ・業務に結びついた所が無い
- ・一部で適用し出したという感じ
- ・業界ごとに、XML 認知度合いにバラツキがあるため
- ・実例がもっとあれば普及したと言えるのでは思っております
- ・レガシーシステムが多いため
- ・まず、ユーザーが XML を意識することはあまりないのではないかと。意識をしていない前提で、XML だからと考える人は多くない。
- ・XML に関する理解が不足している。提案・説明不足
- ・ユーザーはサービスに関心があり、それを実現する技術にはそれほど関心がない。
- ・1つの手段であり、XML でなければというアプリが見つかっていないのでは？

## 7. 上記設問を回答するにあたり、普及度合いを判定した基準( 複数選択)



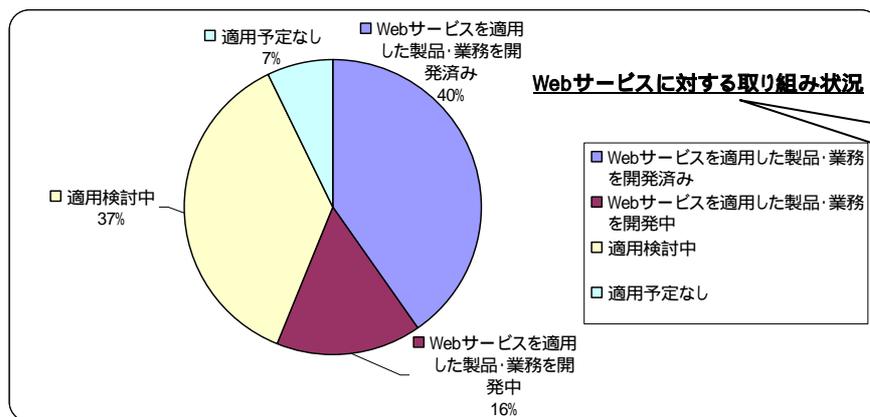
採用状況、認知度、対応製品・業務の数、知名度、事例件数の推移で、75%  
前回調査に比べ、割合に大きな変化なし

その他:

- ・利用状況
- ・XMLでなければならぬ物が少ない
- ・単なる憶測。
- ・メジャー製品での技術採用
- ・自社内の開発現場や商品企画での討議
- ・XMLベースであることを意識せず使えるシステムが多い
- ・ユーザとの会話
- ・特に基準無し
- ・システム内容を考察して

### <Web サービス普及度アンケート>

## 8. Web サービスに対する取り組み状況



前回調査に比べ、開発済み増加!  
開発済み: 29% 40%

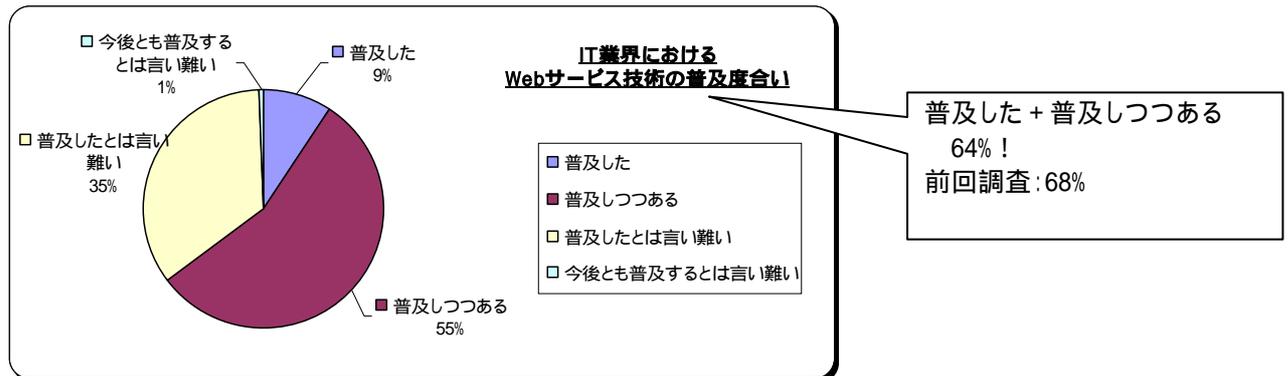
適用した製品・業務を開発済み 製品・業務名:

- ・Webを利用した編集システムを運用中
- ・BTONIC、NewsBOX、GeOAP など
- ・ASTERIA
- ・serv
- ・WebSphere Application Server、Host Access Transformation Services、WebSphere Business Integration Adapter、WebSphere Business Integration Brokers、WebSphere Business Integration Server Foundation、WebSphere Business Integration Modeler、WebSphere Business Integration Message Broker、WebSphere MQ、DB2 Universal Database、Lotus Notes/Domino、Lotus Learning Management System、WebSphere Portal、IBM Rational Application Developer for WebSphere Software、IBM Rational Software Architect、IBM Rational Software Modeler、IBM Rational Web Developer for WebSphere Software、Tivoli Identity Manager、Tivoli Access Manager 等
- ・Oracle Application Server 10g、Oracle JDeveloper 10g
- ・BizEngine
- ・PolarLake
- ・Cosminexus、EUR Form、COBOL2002 他
- ・社内システム他
- ・Interstage 製品群、など
- ・社内ポータル構築エンジン、eコマースエンジン、他
- ・IntelliVoice Mint Square
- ・不動産広告システム
- ・クライアント。サーバー間の連携は全てWebサービスを使用
- ・プロトタイプもしくは、一部お客様システム等に採用されていると思われます。



## 10. 日本における Web サービス技術の普及度合い

### (1) IT 業界における Web サービス技術の普及度合い



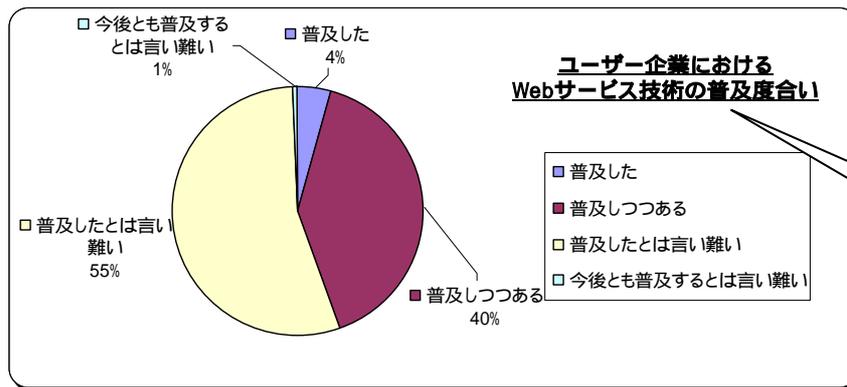
普及したとは言い難い 理由:

- ・新たな投資
- ・Web サービスって何? というような質問が未だに交わされる
- ・技術が先行しすぎてしまい、エンドやカスタマーへの実務レベルでの訴求が弱い(我々を含め、ベンダの責任か)
- ・身近に接していない
- ・ソリューションモデルが未確立
- ・開発できる人員が少なすぎると想われます。
- ・Web ブラウザ、メールなどの既存インストール製品での適用まで必要
- ・当社内パークでは普及できていない
- ・草の根レベルの Web サービスがあまりない
- ・あまり活用事例に遭遇しない
- ・語っているのは大手の一部がマニアックな技術会社のみ
- ・コストとパフォーマンス上のトレードオフで非採用となる
- ・一部の利用
- ・対応技術者の不足。
- ・単なる技術というよりも社会基盤として未整備な部分が多い
- ・構築事例としてはまだまだ少ない
- ・Internal な接続手段としての SOAP/HTTP は普及したと思いますが、シビアな B2B の現場で使うには関連標準が不十分
- ・基準の整備中と思われる
- ・成功事例が少ない。企業間連携の実現には技術的に難しい問題有り
- ・Web サービスを利用したシステムがまだ少ない。
- ・事例があまり報告されていないように思う
- ・関連する製品をかかえているが、要望をきかない
- ・事例をあまり聞いたことが無いので
- ・一般的に公開された Web サービスとしては Google と Amazon 程度しかない。
- ・システム稼働の話しをあまり聞かないので
- ・Web サービスの概念は理解されていると思うが、その定義が必ずしも明確ではなく、現状では使われているとはいえ状況だから。
- ・信頼性、性能、相互運用性など仕様も少しずつ前進していると思います。
- ・部分的な技術の利用範囲にとどまっている
- ・周囲の状況から
- ・エンドユーザーとして、実態が見えない。
- ・事例がもっとあれば普及したと言えるのでは思っております。
- ・認知度とセキュリティー、性能面、インフラ面
- ・事例が少ない
- ・コンセプト的なところを脱していない。状況に応じた具体的な提案をできる企業・エンジニアが少ない
- ・事例が少ない
- ・まだ実サービスがほとんどない
- ・具体的な事例を身近に聞かない
- ・Web サービスの標準仕様が決まっていないため
- ・web サービスを使ったサービスの事例をあまり聞かない
- ・あまり聞いたことがない
- ・詳細レベルでの標準化 / 利用性が未熟、実装側の負担が大

今後とも普及するとは言い難い 理由:

- ・目に見えないため、必要な場面を想定しにくい。

## (2) ユーザー企業における Web サービス技術の普及度合い



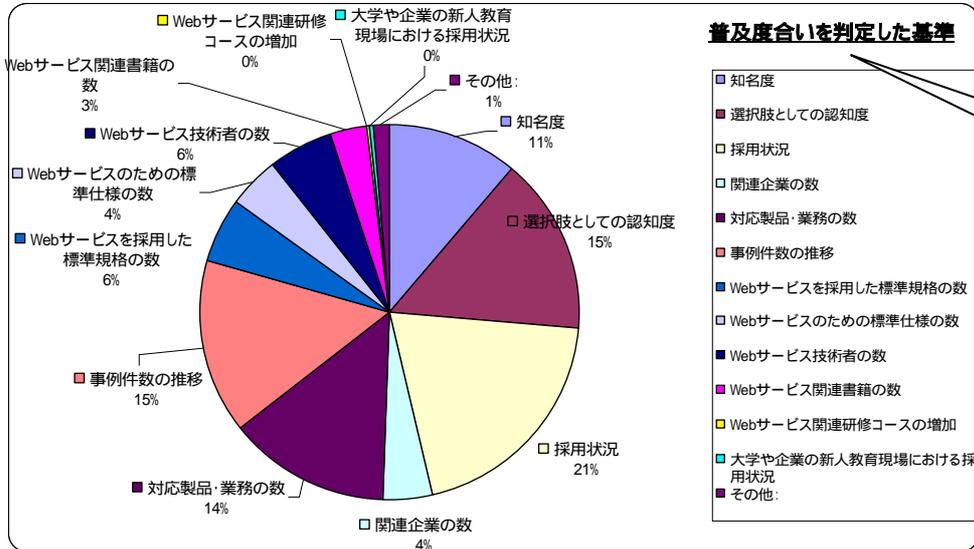
普及したとは言い難い 理由:

- ・実用で使われている例は、まだ少ない
- ・導入・活用事例がまだ少ない
- ・話題に上らない
- ・事例が多くない。適用業務が偏っている
- ・知名度、理解度の低さ
- ・技術が先行しすぎてしまい、エンドやカスタマーへの実務レベルでの訴求が弱い(我々を含め、ベンダの責任か)
- ・ユーザ独自のロジックを実現する基幹系で採用されていない
- ・事例を聞かない
- ・利用は普及しつつあるがユーザーが意識する必要の無い技術
- ・企業間の連携という意味では実用的な稼働システムが少ない
- ・システム、ビジネスレベルでの理解がない
- ・ユーザーが意図的に選択する事は無い
- ・ユーザー企業様には Web サービスを使うのが重要な訳ではないと想います。
- ・導入した結果のメリットがユーザにとって明確でない。
- ・有用な場面での活用ができていない
- ・Web ブラウザ、メーラなどの既存インストール製品での適用まで必要
- ・Web サービスという事でのユーザからの要求なし
- ・顧客で使っているところがまだまだ少ないと考えている
- ・顧客企業で Web サービスを活用出来ていない
- ・そもそも理解を得られていない
- ・検討にはあがっても実際に採用とはならない
- ・一部の利用
- ・事例を殆ど聞いたことがない
- ・業務連携については、EDI を含めまだ普及とは言えない
- ・有効なサービス事例がまだ少ないと感じている。
- ・構築事例としてはまだまだ少ない
- ・企業間格差が大きい
- ・今だに主流は App サーバでのロジック埋め込みでの単体利用のみなので
- ・利用事例が少ない
- ・ユーザー企業では、Web サービス応用を模索の段階である。
- ・認知度が低い
- ・企業間インフラでの対応状況が不明である。
- ・技術者不足
- ・Web サービス技術やそれを用いたシステムは普及したが、恩恵を十分に受けられずその先が続いていない。まだまだ一段階普及のステージがあるように思える。
- ・Web サービスでなければならないという強い動機付けがない
- ・必然ではない
- ・システム稼働の話しをあまり聞かないので
- ・概念は理解しているも、Web サービスの効果について懐疑的だと考えられるから。
- ・現場の開発業務に忙殺されて新たな技術の導入の機会が少ない。
- ・セキュリティの保証
- ・業務に対するメリットが表現されていない
- ・周囲の状況から
- ・エンドユーザーとして、実態が見えない。
- ・業界ごとに、XML 認知度合いにバラツキがあるため
- ・認知度とセキュリティ、性能面、インフラ面
- ・事例が少ない
- ・技術との関連をイメージできない
- ・ユーザメリットをアピールできる場面が少ない
- ・セキュリティの観点から C/S 型を望まれることがある
- ・設問がおかしい。ユーザー企業が普及とは？使っているが理解はしてないのではないか
- ・具体的な事例を身近に聞かない
- ・web サービスを使ったサービスの事例をあまり聞かない
- ・あまり聞いたことがない

- ・Webサービスのキラーアプリが未だ見つかっていないのでは？
- ・本当の意味のWebサービス技術は少ない
- ・実験・検証レベルの感が強い

今後とも普及するとは言い難い理由：  
 ・必要であるという要求が聞かれない

### 11. 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)

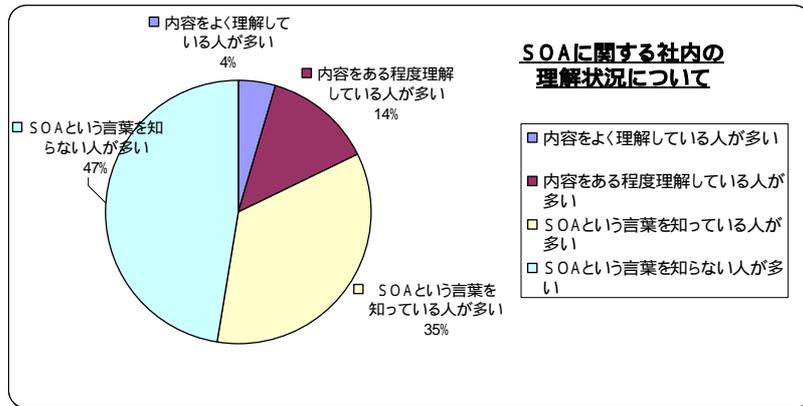


前回調査に比べ、採用状況  
 が増加 16% 21%  
 その他の割合には大きな変  
 化なし

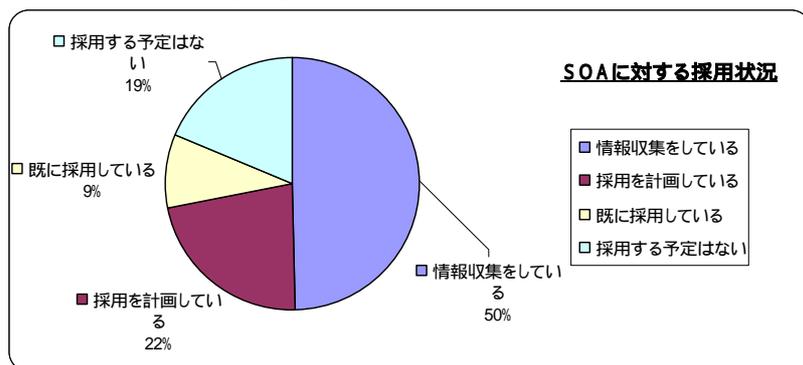
- その他：
- ・単なる憶測。
  - ・自社及び関連会社における開発現場あるいは商品企画の場の状況
  - ・商談と実装方式の検討段階において
  - ・現状のシステム
  - ・回答者自身がよく知らない
  - ・利用する側としてハードルが高い

### < SOA に関するアンケート >

### 12. SOAに関する社内の理解状況について



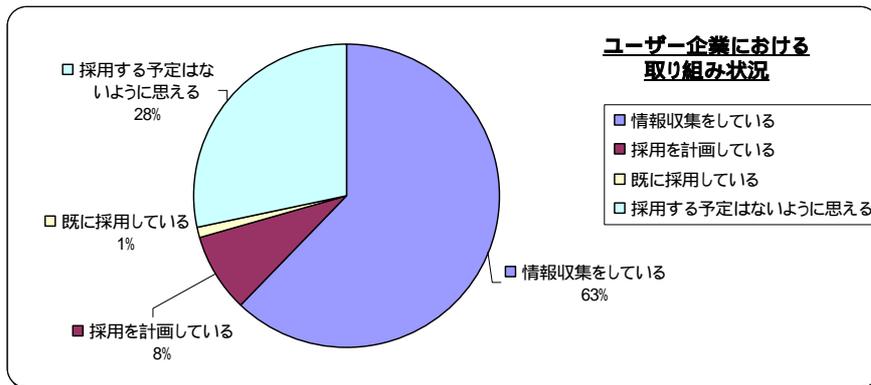
### 13. SOAに対する採用状況



採用する予定はない 理由:

- ・未定です
- ・情報収集を始めたところ
- ・情報収集にいたっていない
- ・予定がないわけではないが、単なる言葉のあやとして捕らえられている場合が多い
- ・必要がない
- ・もう少し状況を見極めて
- ・技術評価中の段階である。
- ・社内に SOA が知られていない
- ・技術やメリットを理解している人材が少ないため
- ・通常の Web サービスでできる規模の開発に留まっている
- ・よく理解していないので
- ・不明
- ・現段階では未定
- ・思想は分かるが、現実的なことが理解できない

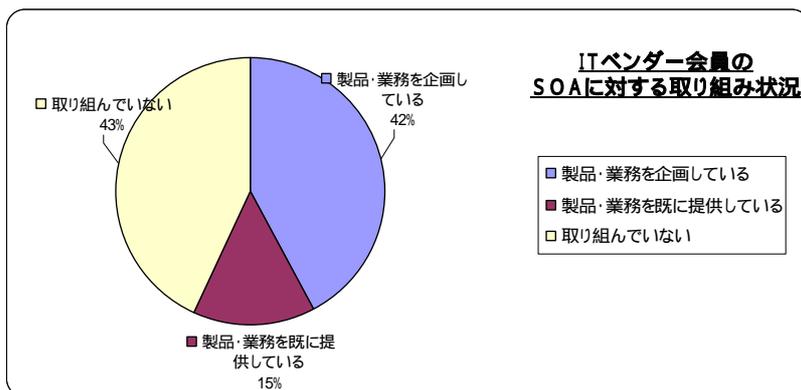
#### 14. ユーザー企業における取り組み状況



採用する予定はないように思える 理由:

- ・サービスを商品の2種類の1つと考えるビジネス担当者にとって、プログラマの念頭にある「デーモン」の派生したサービスを元にした SOA はミスマッチで理解不能だから
- ・現時点で聞かない
- ・具体的な使えるイメージで提案できる IT ベンダーが存在しない?
- ・ユーザーが意図的に選択する事は無い
- ・不明。
- ・ユーザーは病院であるため
- ・営業活動において話題に上がらない
- ・似たような言葉の連呼が敬遠する状態を招いている
- ・このような話をしたことがないのでわかりません
- ・様子を見ていると思われる
- ・話題に上らない
- ・知識がない。
- ・知らないあるいは知る必要がない
- ・大企業以外では、まだ知られていない
- ・具体性につけ、不透明な面が多くあるため
- ・具体的な件名として、お話が聞けていないため
- ・通常の Web サービスでできる規模の開発に留まっている
- ・よく理解していないので
- ・不明
- ・Web サービスとの違いを理解できていないことが多いと思います。また、Web サービス自身も決して普及してとは思えない。

#### 15. ITベンダー会員のSOAに対する取り組み状況



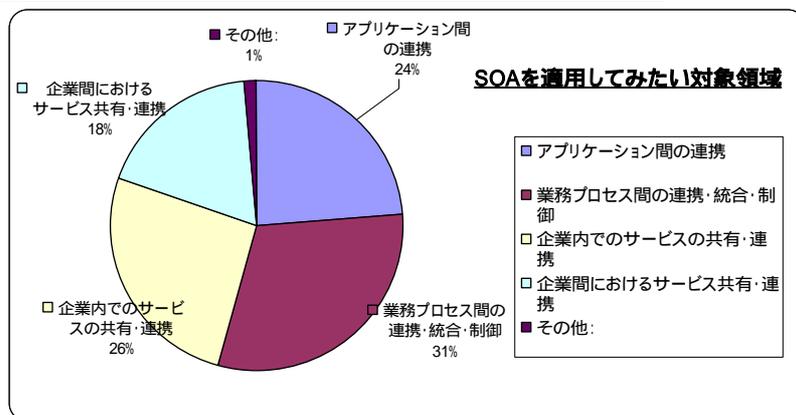
製品・業務を既に提供している 製品・業務名:

- ・ASTERIA
- ・IBM WebSphere Application Server、 IBM WebSphere Business Integration Modeler、  
IBM WebSphere Studio Application Developer Integration Edition、  
IBM WebSphere Business Integration Server Foundation、 IBM WebSphere Business Integration Message Broker、  
IBM WebSphere Business Integration Adapter、 SOA 簡易診断 (IBM Business Consulting Service)、  
SOA アセスメント (IBM Business Consulting Service)、  
SOA ストラテジー&プランニング (IBM Business Consulting Service)、  
IBM Virtualization Engine
- ・Oracle Application Server 10g、 Oracle BPEL Process Manager、 Oracle JDeveloper 10g
- ・BizEngine/BP
- ・Cosminexus、 WorkCoordinator 他
- ・プラットフォーム: BEA WebLogicIntegration
- ・SAP ベースで
- ・Sonic ESB/SonicMQ/他
- ・DataPower XA35 XML アクセラレータ、 DataPower XS40 XML セキュリティ・ゲートウェイ
- ・Artix、 Orbix
- ・Weblogic 製品
- ・Novell exteNd

取り組んでいない 理由:

- ・採用可能か情報を収集し検討中
- ・似て非なる概念を開発し、方法論を準備中
- ・個人レベルです
- ・SOA とコンポーネントベース開発 + Web サービス技術の区別がいまいち、また、SOA の構築プロセスにも決定打(EAI?)がない
- ・格別 SOA を推進するような製品ジャンルに携わっていない
- ・情報収集段階で、まだ具体的な取組みまでには至っていない
- ・不明。
- ・情報収集中のため
- ・顧客に対するメリットをまだまだ手前共で描ききれしていない。
- ・情報収集を始めたところ
- ・アプローチ方法等具体化できない
- ・普及段階には遠いと判断しているため)
- ・社内システムには必要がない
- ・今一浸透していないため
- ・技術評価中
- ・ビジネスプロセスの統合に対する敷居の高さが未だ存在している
- ・情報収集中
- ・具体性かけ、不透明な面が多くあるため
- ・特別に SOA とは謳っていない
- ・Sier に依存
- ・社内での認知が遅れているので
- ・情報収集中
- ・今後、取り組みを検討する
- ・時期尚早
- ・社内に SOA が知られていない
- ・技術やメリットを理解している人材がない
- ・研究課題として動向を調査中
- ・情報収集の段階です

## 16. SOA を適用してみたい対象領域( 複数選択)

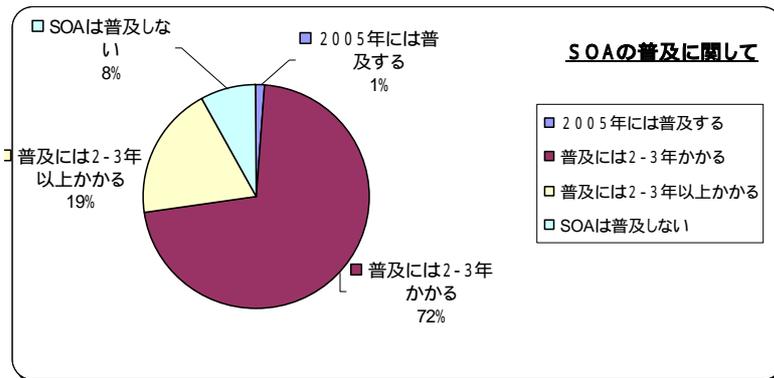


その他:

- ・不明。
- ・GRID
- ・機器とサービスの連携

・なし

## 17. SOAの普及に関して



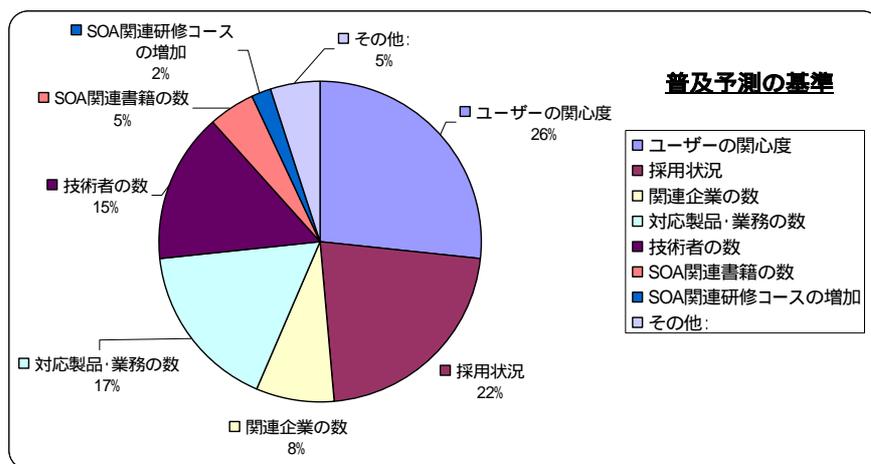
普及には2-3年以上かかる 何年以上:

- ・5年程度
- ・汎用的な実モデルの欠如、
- ・5年くらい
- ・5-7年
- ・5年、とする、
- ・?
- ・4年先
- ・4年
- ・分からない
- ・5年以上かかるのではないかと、また、その場合後継的な別の概念にかわっての普及となるかもしれない

SOAは普及しない 理由:

- ・定義の問題でもあるが、ITIL(これがSOAでないとして)、BPMが広く普及すれば不要と思われるため
- ・不明です
- ・SOA自体は単にキーワードであり実態がないので、SOAを具現化した何らかの方法が一般的に普及するかもしれません。
- ・概念先行で具体的なサービス・ソリューションを展開するのが難しいのではないかと、
- ・多分違う言葉がまた出てくる
- ・必要であるという要求を聞いたことがない
- ・以前に比べユーザ企業も賢くなってきた(慎重になってきた)
- ・技術が検証されてモノになると判断できるのは大体二年後ぐらいと感じているので
- ・SOAという形での普及は難しいが同様のコンセプトでの進化すると思われる
- ・SOAを使わなくてもアプリケーション連携は実現できる。SOAを適用することで得られるメリットより、デメリットのほうが大きいと思われるため。
- ・限られた範囲や、限られたシステムには適用されるでしょうが、汎用的なものになるとは思えない

## 18. 上記設問に回答するにあたり、どのようなことを念頭において普及予測をされたか(複数選択)



その他:

- ・実績とその効果
- ・有望な代案の存在
- ・SOAの意義を出せるようなサービス設計の技術的難しさとSOA志向でシステムを作っていくニーズがまだ成熟していないことから、
- ・単なる憶測、
- ・習熟したコンサルタント、上級SEの数
- ・仕様がある程度統一するまでの期間が必要かと思われる
- ・自社及び関連会社における開発現場あるいは商品企画の場の状況

- ・費用対効果の観点から置き換えは進まない
- ・技術面ではなく、システム運用面で未知数な点が多いと判断している。
- ・情報の偏在
- ・情報収集段階のためわかりません
- ・具体性のあるアーキテクチャになることを想定
- ・現状ではベンダー側のプロモーションが主体であり、ユーザ側は本当にその価値を評価できるほど理解が深まっていない
- ・標準化されていないソフトを、標準化の枠組みで再利用するのは難しい

以上

(2) XML・Web サービス普及度調査アンケート集計結果比較

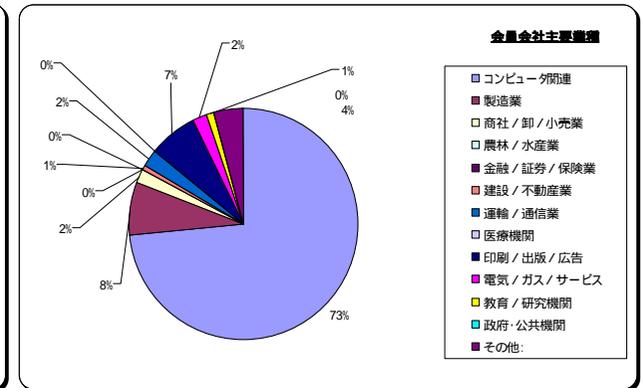
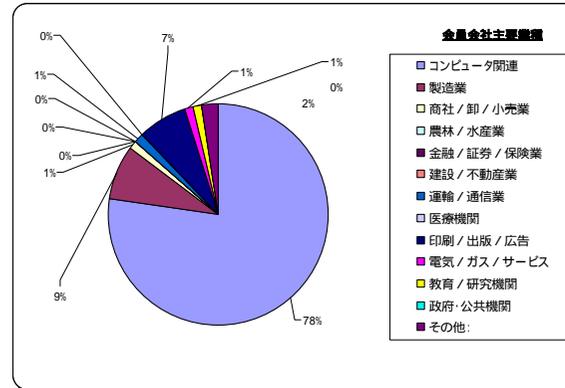
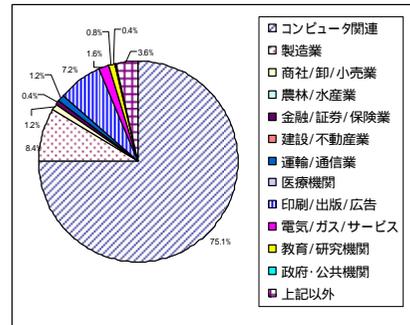
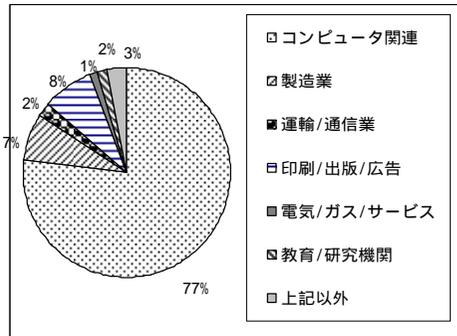
2001 年度

2002 年度

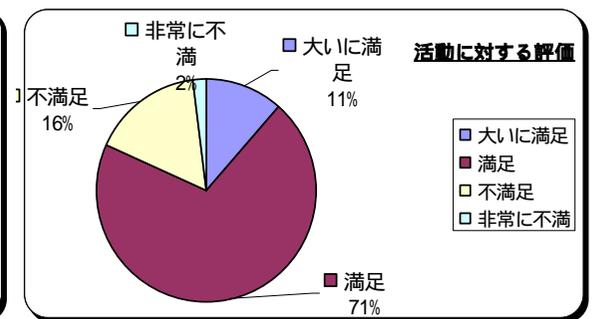
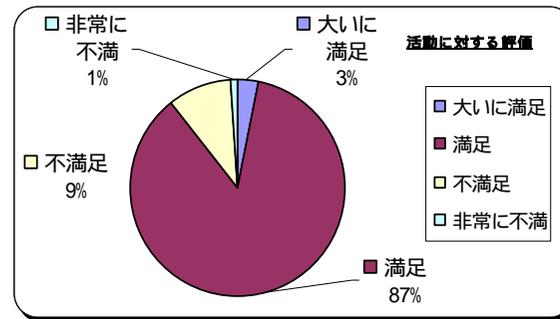
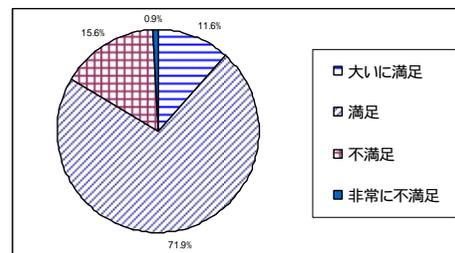
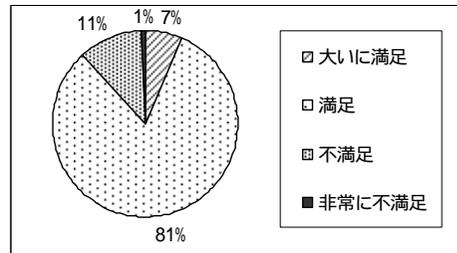
2003 年度

2004 年度

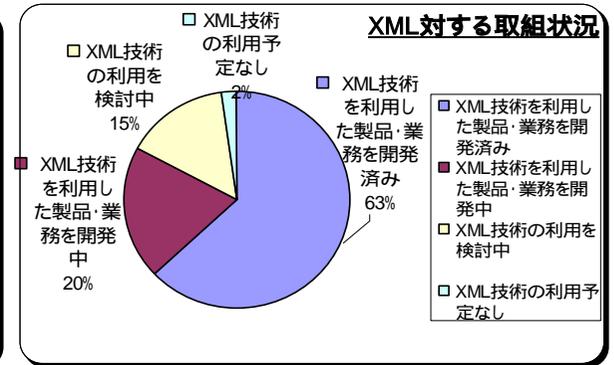
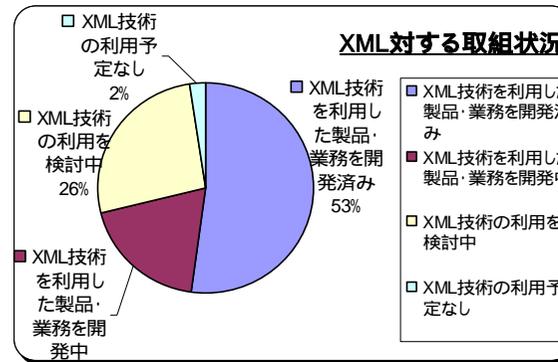
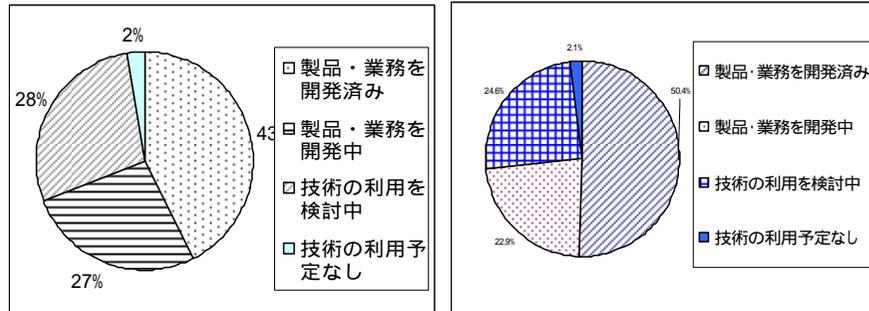
1. 主要業種



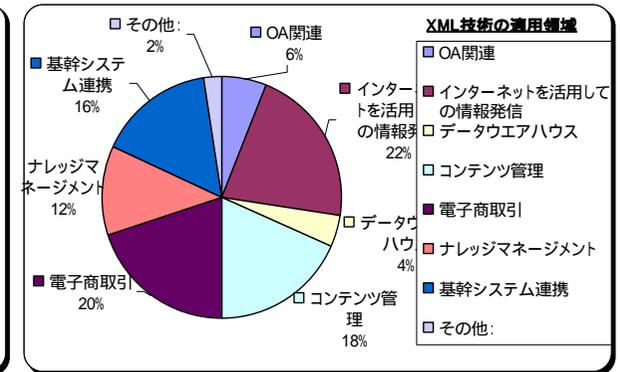
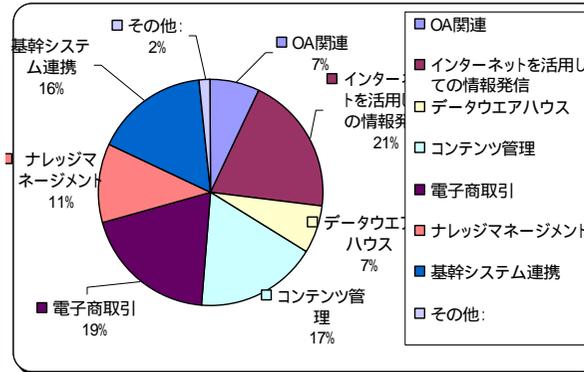
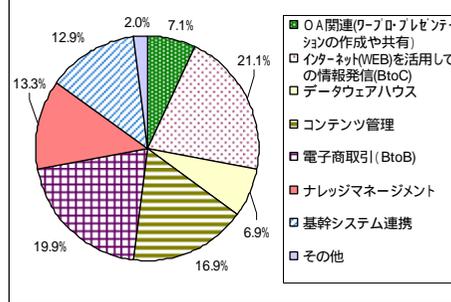
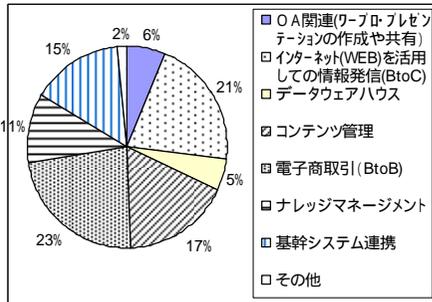
2. XML コンソーシアムの活動に対する評価



### 3. XML に対する取り組み状況

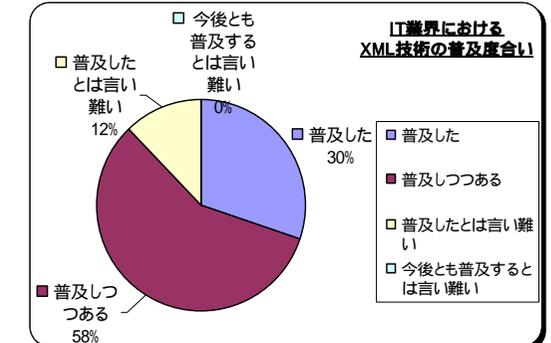
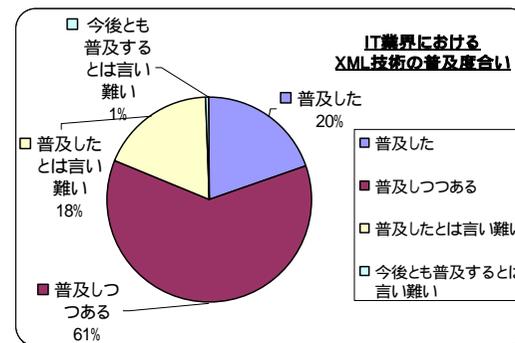
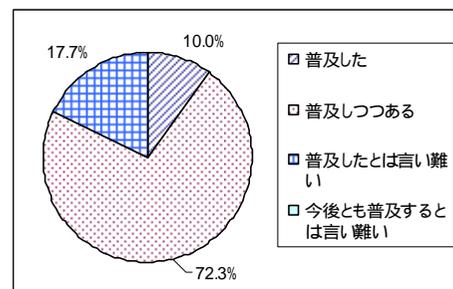
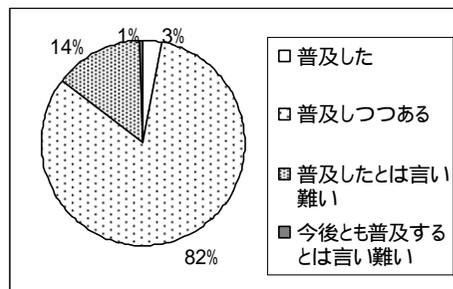


### 4. XML 技術の適用領域として適するもの (複数選択)



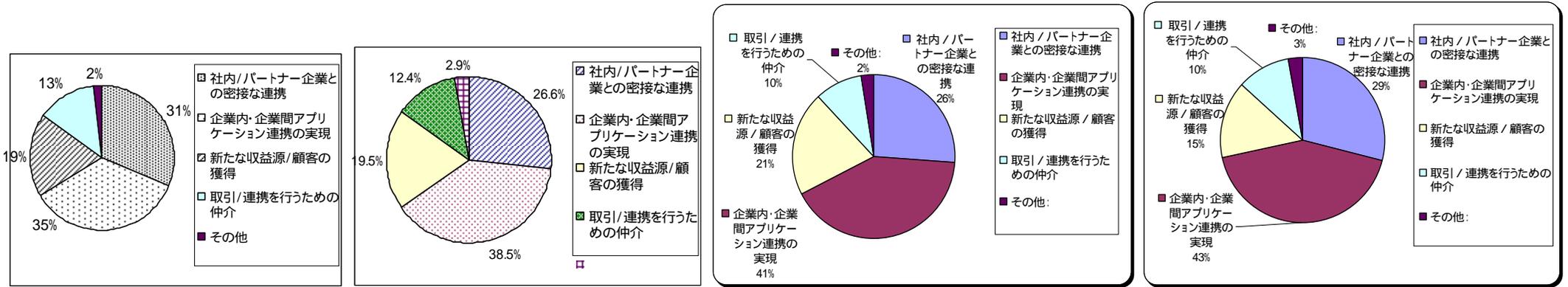
### 5. 日本における XML 技術の普及度合い

#### (1) IT 業界における XML 技術の普及度合い



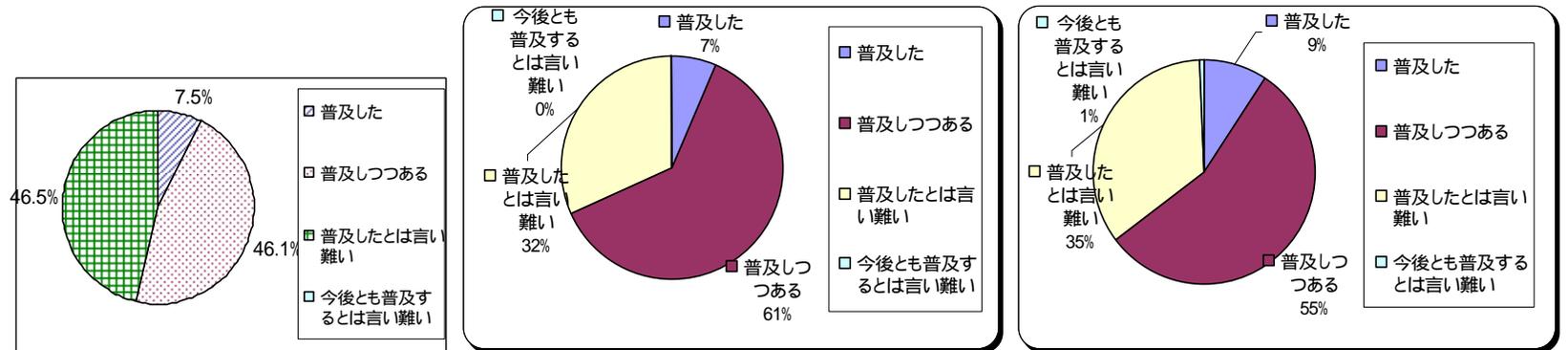


8. Web サービスを適用してみたい対象領域( 複数選択)

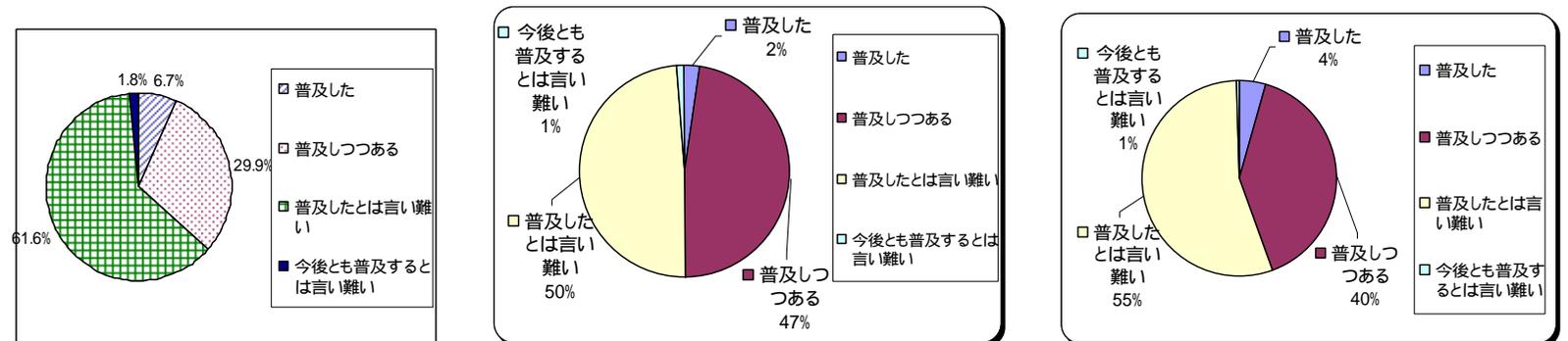


9. 日本における Web サービス技術の普及度合い

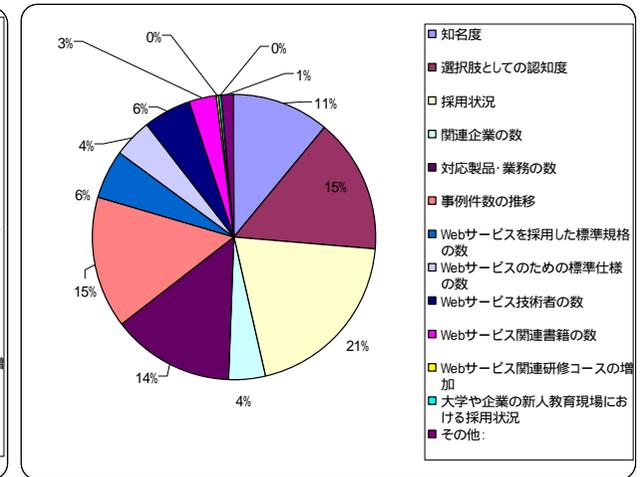
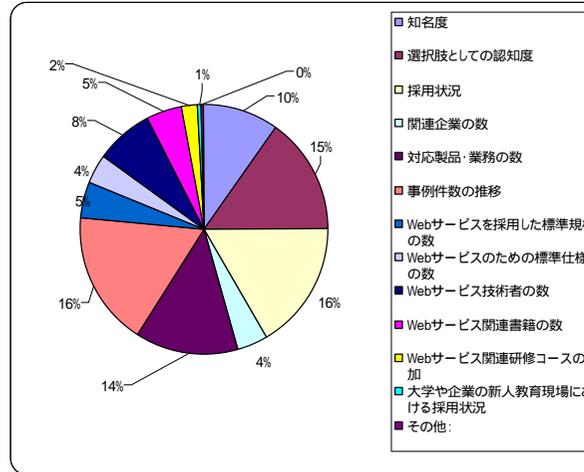
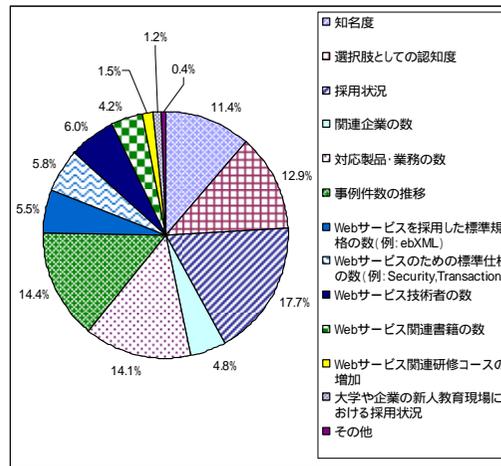
(1) IT 業界における Web サービス技術の普及度合い(2001 年度は以降設問なし)



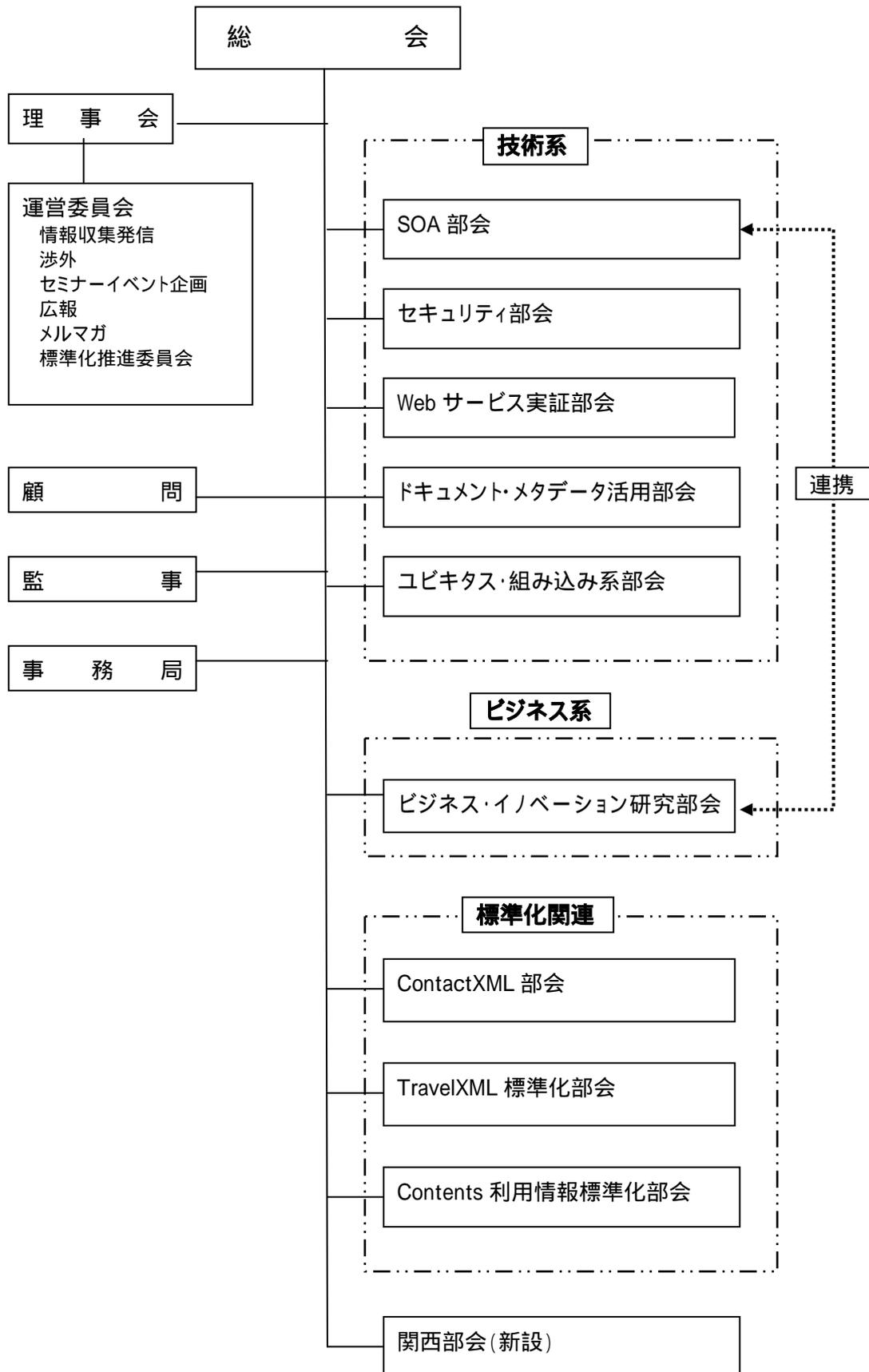
(2) ユーザー企業における Web サービス技術の普及度合い



10. 上記設問に回答するにあたり、普及度合いを判定した基準(複数選択)



4.2005年度 XMLコンソーシアム組織



## 5. 2005 年度 部会活動計画

### (1) SOA 部会活動要綱案

#### 目的

SOA(Service-Oriented Architecture)とはビジネスレベルの"サービス"を組み合わせるアプリケーションの連携や統合を行なうシステム構築の考え方をいう。当部会の目的は抽象的な SOA の概念から具体的なビジネス面でのメリット、システム設計の方針、Web サービスの有効活用の方法等を導きだすことである。さらに得られた情報や知見を外部に発信することで SOA や Web サービスの普及・発展に貢献することを目指す。

#### 活動内容

以下のテーマを中心に活動を行なう。

- サービスの記述、発見、合成、実装に関する規格・技術の調査
- SOA によるプロセス統合、B2B、EC 等の実現事例の収集と分析
- SOA や Web サービス関連ツールや開発環境、実行環境の調査
- SOA の意義の認知や普及のための情報の発信
- SOA 実現に必要なノウハウ、アーキテクチャパターン、デザインパターンの収集と蓄積
- ビジネスモデルの定義から Web サービスによる実装に至る SOA 適用シナリオの作成

#### 2005 年の重点施策

前年度に引き続き SOA の具体的なイメージを開発者/ユーザに提示することを重点施策とする。特に以下の2点を中心に調査や情報発信を行なう。

- (1)SOA の意義や基本的な考え方の普及促進
- (2)パターンやベストプラクティスの提示による SOA の実現イメージの具体化
- (3)ビジネスプロセスモデルの記述の実践によるサービスの設計

#### 活動方法

- 新年度に向けてのオリエンテーションをコンソーシアム Week 中に行なう
- 月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション
- メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- ビジネスイノベーション研究部会とのコラボレーション(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- XML コンソーシアム他部会等との協調による普及推進
- Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

#### ワーキンググループ

ワーキンググループの構成や活動形態については 2005 年度の最初のミーティング(6 月を予定)で協議し決定する。

#### 対象者

SOA や Web サービスの実現やビジネス応用について興味をお持ちのかた。プログラミングのスキルは不要。

#### 会員メリット

- SOA 関連情報・ノウハウの獲得
- 参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 体制

リーダー/サブリーダーは 2005 年度の最初のミーティング(6 月を予定)で決定する。

#### 候補

- 天野富夫 日本 IBM
- 牧野友紀 日本ユニシス

### (2) セキュリティ部会活動要綱案

#### 目的

XML セキュリティ技術のビジネスシステムへの適用に向けて、規格の調査・翻訳・解説を行ない、また、アプリケーションモデルの検討・試作を通じてシステム構築における様々な問題点の解決方法や具体的な実装ノウハウを蓄積すると共に、それらの成果物を公開することによりセキュリティ技術の普及を促進させるべく活動を行なう。

#### 活動内容

- セキュリティ規格の調査、解説
- セキュリティ規格文書の翻訳
- ビジネス適用事例の調査、収集
- 開発ツール、ミドルウェア等の調査および比較検討

モデルの構築とアプリケーションの検討  
試作による技術検証 (他の部会との関係による実証実験)

#### 活動方法

メンバー全員による月例ミーティング、WG 別ミーティングの開催  
メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション  
参加メンバー個人によるテーマ別の調査報告の実施  
関連製品の紹介セミナーの開催  
XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進  
翻訳文書、Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成  
XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

#### サブワーキンググループ

初回会合において、メンバーの活動要望を聞きながら WG を構成して活動予定

#### 会員メリット

XML 関連情報・ノウハウの取得  
XML 技術動向の早期キャッチ・アップ  
メンバーで膨大な情報を分担、料理した後、共有！  
将来ビジネス発掘のための基礎情報取得  
参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 体制

リーダー候補：岡村(ネット・タイム)  
サブリーダー候補：松永(東京エレクトロン)

### (3) Web サービス実証部会活動要綱案

#### 活動目的

実ビジネスシステムにSOAに基づいたWebサービス技術を適用するにあたっての技術的課題を抽出、解決するため、標準技術に基づいた最新技術やWebサービス関連製品を活用したプロトタイプシステムの開発を通して、XML/Webサービス利用技術の向上および普及に努める。

#### 活動内容

プロトタイピング  
- 実用システムのプロトタイプ開発  
- XML応用規格を利用したプロトタイプシステム開発  
XML/Webサービス関連プロダクトの評価  
XML/Webサービス応用技術の普及・推進  
- 定例セミナー・総会等での発表  
- 学会、雑誌等での発表  
- Webページによる情報の発信  
- 製品紹介セミナーの開催

#### 活動方法

メンバー全員を対象とする定例ミーティングの開催  
- ワーキング・グループ別の月例ミーティングの開催  
- 必要に応じて、ワーキング・グループを横断した活動を実施  
- 製品紹介セミナーの開催  
- メーリングリスト活用による日々の情報交換、Q&A等  
他部会、他団体との連携

#### 活動成果・メリット

XML関連情報・ノウハウの取得  
- 評価・プロトタイピング：作成した評価報告書およびプロトタイプのソースコードの作成及び公開  
- 製品紹介：各企業での製品利用のきっかけに利用してもらう  
- 参加企業間での情報交換・人的/ビジネス・ネットワークの構築  
情報公開  
- Webサイトでの評価報告・プロトタイプの公開  
- 学会、雑誌等での発表  
参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

#### 参加資格

XMLコンソーシアムの会員でWebサービスに関心があり、開発に参加できること  
定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

#### スケジュール概要

月1回の定例ミーティングの開催  
XMLコンソーシアムとしてのイベント等に参加

#### 体制案

リーダー : PFUアクティブラボ株式会社 松山憲和  
サブリーダー : 株式会社 日立製作所 大場みち子  
: 東京エレクトロン株式会社 松永豊

### (4) ドキュメント・メタデータ活用部会活動要綱案

#### 活動目的:

昨年度は、ブログ/SNS が国内でブレイクし、一般の新聞や雑誌でも当たり前にとりあげられるようになりました。それを支えるのがメタデータ活用の技術とアイデア、運用ノウハウです。特に、文書メタデータ、人間や組織のプロフィール、そしてSNS が利用しているイベント・メタデータの3種を巧みに組み合わせて活用していくのが、アプリケーション、ソリューションの価値の源泉になると考えられます。例えば、愛知万博向け iPlat プロジェクトでは、'緯度・経度'という古くから親しまれているメタデータを介して衛星画像と現場のケータイ写真入りブログを地図上で連動させるという組み合わせにより、斬新な付加価値を創り出すことができました。

一方、異種のアプリを連携させるには必ずしも WebServices によるだけではなく、ATOM/RSS、トラックバックなど、メタデータを活用した緩やかな連動の仕組みが相応しい場合も多く存在します。昨年度は、愛知万博 iPlat プロジェクトで、WebService に画像付きブログを緯度・経度データを介して様々な手法で連携させてみた経験から、実際の情報構造に適したインタフェースを組むという柔軟なアプローチが有望なことを悟りました。かように、メタデータ活用による連携は、データ/コンテンツ主導の実装インタフェースとしても極めて有望視されるようになっていきます。

以上、初年度の活動成果を踏まえ、本部会では今年度は、運用・サービスのモデル化や関連技術の調査・分析、特にXBRL や HR-XML 等を活用した基幹系コンテンツ管理とに焦点を当てて、標準技術の知識を共有し、新ビジネスを支えるアプリケーションの実現手法を研究してまいります。

#### 活動内容:

- (a)各種メタデータ標準、メタデータの役割の強い応用言語の調査と知識共有
- (b)XML-DB やメタデータ、複合/分散コンテンツ管理・活用の各種フレームワーク、モデルの調査
- (c)Blog/SNS 運用など、コンテンツ連携のモデル、アプリケーション・モデルの検討
- (d)メタデータや XML 表現されたコンテンツを梃子にした既存サービス(技術、商品)の調査、分析、評価
- (e)WebService, SOA におけるメタデータ活用の役割の研究と実証評価 (iPlat の延長でモデル化、標準化)

#### 2005 年度の重点施策

期限無し団体として仕切り直しをした XML コンソーシアムのオープンさ、間口の広さを象徴する部会として、「入りやすさ」「関連 WG、部会、企業、学会・研究会等との連携のしやすさ」を重視して活動いたします。  
このため、年度途中でも常時参加を受け付けております。

- (1)XBRL や HR-XML 等を活用した基幹系システムにおけるメタデータ活用
- (2)関連研究を横断したコミュニティの形成  
EAI、EA、各種 B2B、B2C、XML-DB、KM、WebLog などに細分された SIG(会員企業が参加しているもの)へ参加呼びかけ  
成果物のとりまとめよりも、多彩な問題意識、目的意識をもつ会員間のコミュニケーション促進
- (3)アプリケーションの追求  
コンテンツ駆動型のビジネスモデルの調査、分析、評価  
メタデータや XML 表現されたコンテンツを梃子にしたサービス(技術、商品)の調査、分析、評価  
アプリケーションを現実の企業情報システム上に配備する BPM  
ドキュメント・マネジメント/ナレッジマネジメント  
アプリケーション、Use Case を具体的に想定した XML-DB や複合コンテンツ、メタデータ活用手法  
表計算オントロジー、RSsS、RSS 視聴等、過去の試作成果の発展系の追求
- (4)試作・検証  
関連ツール、要素技術の機能性や性能の検証

#### 活動方法

メンバーによる月例ミーティング開催  
SNS、ブログ、メーリングリストによる日常の情報交換、ディスカッション  
参加メンバー個人によるテーマ別の調査報告の実施  
XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進  
国内外の学会、他研究機関との研究会共催

技術顧問(慶應&W3C 萩野教授, 名大吉川教授)ら識者を囲んだオープン・ディスカッション  
XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

#### ワーキング・グループ候補

SNS/Blog コンテンツ連携 WG  
XBRL WG, Human Profile WG, NewsML WG  
メタデータ規格調査・利用検討 WG  
XML-DB WG  
複合コンテンツ WG  
ATOM/RSS WG (実装標準、ノウハウの追求)

#### 会員メリット

ドキュメント、メタデータ関連情報・技術・実装ノウハウの取得  
SNS コミュニケーション等、運用、デモ付きの講演に参加することによる近未来体験  
将来アプリ、ビジネス発掘のための基礎情報取得  
参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

[参考] RDF, OWL (SemanticWeb)以外のメタデータ標準の例:

様々なメタデータ規格:  
・汎用 DC (Dublin Core)、RDF (, RSS)  
・マルチメディア MPEG7  
・写真・画像 RDFPic <http://jigsaw.w3.org/rdfpic/>  
・電子政府 MIReG, e-GMS, AGLS, e-Gov  
・eLearning LOM(Learning Object Metadata)、LIP  
・News、TV 放送 XMLNews、NewsML、TV Anytime、ARIB、....  
・音楽 MusicBrainz, ...  
・地理・観光情報 G-XML、JMP、...  
・フィルタリング PICS  
・ユーザプロフィール、人事情報 P3P、HR-XML  
・コンテンツ管理 clDF (Content ID Forum)

#### 連絡先

<http://bizpal.jp> にご入会の上、グループ[XML コンソーシアム]のメンバーリストを見て、  
野村 直之、小林 茂、玉川 竜司、赤井 靖雄、藤原 隆弘  
の各氏にメールしてください。

## (5) ユビキタス・組み込み系部会活動要綱案

これまでの調査研究活動をベースに、ユビキタスというキーワードに関わる XML 関連技術を整理し、今後の技術、市場、社会、家庭、人間に関わる分野のレポートを作成したいと考える。

基本的な動向として、以下の可能性を考慮している。

- (1) モバイル指向、クライアント指向となる XML 処理
- (2) 個人管理 (PIM) 情報の活用とプライバシー、セキュリティ問題
- (3) アプリケーション分野の推移 (企業ビジネスから社会、家庭、人間へ)
- (4) セマンティック・オントロジへの提言 (全ての管理対象への ID=URI 付与)
- (5) ネットワーク・インフラへの提言 (ID=URI と IPv6 との関係付け)

上記の背景としては、下記標準化組織の動向を注目し、必要に応じて連携して進めたいと考えている。

- (1) W3C のモバイル Web イニシアティブ (MWI)、複合ドキュメントフォーマット (CDF) WG
- (2) YRP ユビキタス研究所の T エンジンフォーラム
- (3) JEITA AV 機器標準化委員会
- (4) 日本規格協会ユビキタス委員会

上記動向をベースに、参照モデルとテーマを設定し、有志で分担してレポートにまとめたいと考える。現状では以下のようなスケジュールを考えている。

第一期(2005.6~9)  
基本参照モデルの設定  
個別テーマ、分担の設定  
第二期(2005.10~12)  
分担テーマの調査検討、  
素案原稿作成  
学会研究会での講演  
第三期(2006.1~3)

素案原稿レビュー  
最終版作成

なお、レポート作成と平行して、従来からのヒアリングによる調査研究も継続させる。  
部会以外のコミュニケーション手段として、メールおよびソーシャル・ネットワーク・サイト mixi を活用している。

## (6) ビジネス・イノベーション研究部会活動要綱案

### 活動目的

ビジネス環境の変化に俊敏に対応し、絶え間ないビジネス変革を継続するために、経営戦略上の施策実現にこれまで以上、深くかつ密接に IT 基盤を対応させることが不可欠となっている。

昨今、EA(エンタープライズ・アーキテクチャ)は、その実現方法の1つとして注目されている。

当部会では、経営目標、経営計画を反映し、ビジネスと IT を明確に関連づけるため、ビジネスモデルの記述方法、ビジネスプロセスの分析・表現手法、対応するシステムの設計方法を研究する。

研究成果の検証のため、現実にあるビジネス・ケースをサンプルにビジネス・ビジョンの理解からビジネスモデルの記述、ビジネスプロセス・モデリング、システム構築まで模擬的に試行するタスクフォースを立ち上げ知見を得る。

### 活動内容

- ビジネスアーキテクチャ記述に関連する規格およびツールの調査
- ビジネスモデル定義方法、ビジネスプロセス・モデリング手法の研究
- ビジネスアーキテクチャからシステムアーキテクチャの関連付け方法の研究
- ビジネスプロセス・モデリングからシステム構築に至る実証検証

### 2005年の重点施策

2004年度の後半 SOA 部会とともに開始した「ビジネスプロセス記述とサービス設計の試行」プロジェクトの活動を継続し完遂する。モデル駆動によるビジネスアーキテクチャとシステムアーキテクチャの接合方法を中心に調査・研究する。

- (1)SOA 部会との協同研究: ビジネスプロセス・モデルからのサービス設計方法
- (2)BPMI.org 等ビジネスアーキテクチャ関連標準規格の調査
- (3)関連有識者を招聘したセミナー開催
- (4)関連外部諸団体との連携による情報共有と協同研究

### 活動方法

- 新年度に向けてのオリエンテーションを他の関連部会と合同で開催
- 月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション
- メールリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- SOA 部会とのコラボレーション(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- XML コンソーシアム他部会および他団体との協調による普及推進
- Web ページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- XML コンソーシアム Day、XML コンソーシアム Week での活動報告

### ワーキング・グループ

当初、部会内にワーキング・グループを設置せずメンバー全員でディスカッション、研究を実施する。

### 対象者

IT ユーザー企業業務企画部門、IT ユーザー企業情報システム部門、S/W 提供ベンダー導入支援部門、SI ベンダー上流工程担当部門等、ビジネスと IT の関連付けや融合の方法について興味のある方。  
ビジネスプロセス・モデリング初心者参加を前提に活動する。

### 会員メリット

- 初級レベルから段階を踏んだメンバーのスキル・アップ
- ビジネスアーキテクチャ関連情報・ノウハウの獲得
- 参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立

### 体制

リーダー/サブリーダーは 2005 年度の最初のミーティング(6 月を予定)で決定する。

### 候補

- 牧野友紀 日本ユニシス
- 天野富夫 日本 IBM

## (7) ContactXML 部会活動要綱案

### 目的

ContactXML仕様に関する制定・開発・情報公開・情報交換等のContactXML仕様の普及活動を行う  
ContactXML仕様を活用したビジネスへの後方支援を行う

#### 活動内容

ContactXML仕様の開発・制定・標準化  
ContactXMLの適用研究・事例収集  
ContactXML仕様に関する情報の収集、交換ならびに提供を行う場としての部会及び「ContactXML.org」(ポータル・メーリングリスト)の運営  
ContactXML仕様の普及活動  
上記全成果物のXMLコンソーシアムへのフィード・バックと承認申請

#### 活動方法

必要に応じて下記の活動を実施する

- メンバー全員による部会の開催
- テーマ毎個人による調査報告の実施
- 他部会と連携した研究、セミナーの開催
- ContactXMLメーリング・リストを使用した意見交換
- 出版等他外部向けコンテンツの作成

#### 活動成果予定

ContactXML Version 1.1a用 XML Schema

#### 参加資格

コンタクト情報の記述・交換に関心があること。  
定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと。

#### スケジュール概要

未定

#### 連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします  
xmlcons@fsi.co.jp

## (8) TravelXML 標準化部会活動要綱案

#### 活動目的

旅行業者、交通機関、宿泊施設、各種サービス機関の間で行われる、取引情報について、業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的とした電子商取引情報のXMLによる標準化提案を目指します。また特にパッケージ旅行商品に関する扱いについてのサポートを第一義の目的として検討します。

#### 活動内容

旅行業界における商取引についての調査と要件把握  
旅行業界における商取引のXML標準の改善検討

- XMLスキーマ等の実装レベル標準仕様作成
- 蓄積利用への拡張仕様作成

旅行業界商取引のXML標準化情報(Travel XML)の普及

- Webページ等による情報の発信
- 活用セミナーの企画・開催
- 実装検証・評価
- XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

#### 活動方法

月1回程度のミーティングの実施  
商取引に関連する各旅行業者との協力による業界情報収集  
メーリングリスト活用による情報交換、ディスカッション  
主幹事メンバーによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション  
他部会、他団体との連携

#### 活動成果予定

旅行業界商取引のXML(TravelXML)標準の実証検証・評価報告

#### 参加資格

XMLコンソーシアムの会員で旅行業界商取引の標準化に高い関心を有すること

定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

#### スケジュール概要

- ～2005年6月： 実証検証・評価企画
- ～2005年12月： 実証検証・評価実施
- ～2006年3月： TravelXML標準(改善版)勧告化

#### 連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします  
[xmlcons@fsi.co.jp](mailto:xmlcons@fsi.co.jp)

### (9) コンテンツ利用情報標準化部会活動要綱案

#### 目的

著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者の間で行われるコンテンツ利用に使われる情報について業界での利用形態を調査・研究し、業界全体の効率化を目的としたコンテンツ利用情報のXMLによる標準化提案を目指します。

#### 活動内容

- 必要に応じて以下の活動を行う。
- コンテンツ利用情報対象業務についての調査と要件把握
  - コンテンツ利用情報のXMLによる標準化案(第2版)作成
  - コンテンツ利用情報XML標準化情報の普及
    - = Webページ等による情報の発信
    - = XMLコンソーシアム他部会及び他団体との協調による普及推進・標準化支援等

#### 活動方法

- 必要に応じて以下の活動を実施する。
- 標準案作成中は月1回程度のミーティングの実施
  - コンテンツ利用に関連する業界団体との協力による業界情報収集
  - メーリングリスト活用による情報交換、ディスカッション
  - 主幹事メンバによる討議資料・報告書等のドキュメンテーション
  - 他部会、他団体との連携

#### 活動成果予定

未定

#### 参加資格

XMLコンソーシアムの会員でコンテンツ利用情報の活用で主導的なポジションにある著作権者(著作権管理団体も含む)、コンテンツホルダー、配信事業者、システム提供のSI企業、著作権許諾支援ソフト提供企業、その他著作権許諾情報に興味を持つ企業などのコンテンツ利用の商取引の標準化に高い関心を有すること  
定例ミーティング又はメーリングリスト、総会・セミナー実施等の活動に参加できて、部会の活動に参加可能なこと

#### スケジュール概要

未定

#### 連絡先

活動内容についてのご意見・ご質問は以下におねがいします  
[xmlcons@fsi.co.jp](mailto:xmlcons@fsi.co.jp)

### (10) 関西部会活動要綱案

#### 目的

関西で活動を行える会員間での、情報交換と交流を全体の目的とする。参加会員により、XMLの利用状況を調査することで現状の認識を整理し、実装による会員の技術力向上を目指しながら、利点・問題点を共有化する。これらを通じて、関西でのXML、Web サービス、SOA等の普及活動の活性化に努める。

#### 活動内容

XMLを根幹のキーワードにWeb サービス、SOAに至るまでを、会員間の交流を主たる目的としながら、以下の活動を行うこととする。  
各要件に対してはサブグループを構築し活動を行うが、定例部会では全員を対象として、座談形式で意見交換を行い会員全体での情報共有を図る。

関西での XML 活用事例の調査  
文書活用から、Web サービス、SOA に至るまで、企業による使われ方の調査  
Web サービス実装  
仮想システムを通じた Web サービス実装  
地域性を生かした実装モデルの調査  
学校、団体との共同研究を目指し活動  
情報発信  
セミナー実施  
活動メンバーの増加を目指し企画

#### 活動方法

セミナーによる勉強会の実施(東京で開催されたセミナー、関西独自セミナー)  
月例ミーティングでの Face-to-face のディスカッション  
メーリングリストによる日々の情報交換、ディスカッション  
他団体、学校との連携

#### 活動成果

実装経験の共有  
初歩からの経験における情報の公開  
調査内容の公開  
関西における普及動向の報告

#### 2005 年の重点施策

関西での活動にあたり、参加会員の意識統一を図り、恒常的な拠点とすべく、地盤を築くことを重点課題とする。  
関西拠点を継続的な活動の場とすべく、今後につなげる活動のシナリオを以下に記載する。

- (1)現状の普及動向の認識
- (2)関西での活動の活性化  
セミナーの実施(東京部会連携)  
実装による経験
- (3)関西に拠点を置く団体との共同研究

#### 対象者

XML コンソーシアムの会員で関西における活動に興味をもたれる方  
定例 Meeting やメールによる意見交換に参加でき、情報の共有に努めることが可能な方

#### 会員メリット

関西を中心とした参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立  
地域の状況を把握  
実装を通して技術の習得

#### 体制

##### ワークグループ

全員で共通認識を持つ観点より、現状は作成しない。

##### 体制案

リーダー：芦田  
開催時に、活動メンバーにより、リーダーの決定及びサブリーダーの有無を含め、検討する。

以上

## 6. 会員会社一覧 (2005年5月27日現在:189会員)

NO.	会社名	備考	NO.	会社名	備考
1	亜細亜証券印刷株式会社	理事会社	61	沖電気工業株式会社	
2	イースト株式会社	理事会社	62	株式会社 気象サービス	
3	インフォテリア株式会社	理事会社	63	株式会社紀伊國屋書店	
4	NTTコムウェア株式会社	理事会社	64	キヤノン株式会社	
5	NTTソフトウェア株式会社	理事会社	65	株式会社きやむネット	
6	株式会社NTT データ	理事会社	66	共同印刷株式会社	
7	株式会社大塚商会	理事会社	67	株式会社クレオ	
8	サン・マイクロシステムズ株式会社	理事会社	68	株式会社クレスコ	
9	株式会社ジャストシステム	理事会社	69	株式会社KDDI研究所	
10	東芝ソリューション株式会社	理事会社	70	株式会社国際マイクロ写真工業社	
11	日本電気株式会社	理事会社	71	コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社	
12	日本アイ・ピー・エム株式会社	理事会社	72	コベルコシステム株式会社	
13	日本オラル株式会社	理事会社	73	サイバネットシステム株式会社	
14	日本ヒューレット・パカード株式会社	理事会社	74	サニービームズ株式会社	
15	日本ユニシス株式会社	理事会社	75	株式会社サンモアテック	
16	株式会社日立システムアンドサービス	理事会社	76	株式会社CRCソリューションズ	
17	株式会社日立製作所	理事会社	77	株式会社 ジェイアール総研情報システム	
18	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	理事会社	78	JFEシステムズ株式会社	
19	富士ソフトABC株式会社	理事会社	79	株式会社ジェー・アイ・イー・シー	
20	富士通株式会社	理事会社	80	株式会社時事通信社	
21	マイクロソフト株式会社	理事会社	81	株式会社シナジー・インキュベート	
22	株式会社リコー	理事会社	82	株式会社ジャステック	
23	株式会社アーキインターナショナル		83	株式会社ジャスミンソフト	
24	アーバーテキスト ジャパン		84	昌栄印刷株式会社	
25	ITエンジニアリング株式会社		85	株式会社翔コピーセンター	
26	有限会社アイティーエス		86	情報技術開発株式会社	
27	株式会社IDG ジャパン		87	信興テクノミスト	
28	株式会社アイフィスジャパン		88	Sky株式会社	
29	株式会社アクセスネット		89	住商情報システム株式会社	
30	株式会社アグレックス		90	住友信託銀行株式会社	
31	アディレクト株式会社		91	住友セメントシステム開発株式会社	
32	株式会社アドイン研究所		92	セイコーエプソン株式会社	
33	株式会社アドス		93	セイコープレジジョン株式会社	
34	アドソル日進株式会社		94	株式会社セゾン情報システムズ	
35	株式会社アドパークコミュニケーションズ		95	株式会社セック	
36	アブリソ・ジャパン株式会社		96	総合オフィスサポート株式会社	
37	株式会社アプレッソ		97	ソニーグローバルソリューションズ株式会社	
38	株式会社アレフ・ビジネス・システムズ		98	ソニック ソフトウェア株式会社	
39	伊藤忠テクノサイエンス株式会社		99	ソラン株式会社	
40	茨城日立情報サービス株式会社		100	ソレキア株式会社	
41	株式会社インターネットイニシアティブ		101	株式会社タジマ	
42	インディゴ株式会社		102	蝶理情報システム株式会社	
43	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社		103	株式会社都築ソフトウェア	
44	ウェブソフト・インターナショナル株式会社		104	都築電気株式会社	
45	ウェブテクノロジー株式会社		105	TIS株式会社	
46	株式会社内田洋行		106	株式会社DTS	
47	ウルシステムズ		107	ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社	
48	株式会社エイアンドティー		108	デイツーイーツ株式会社	
49	株式会社エイチ・オー・エス		109	株式会社データ・アプリケーション	
50	株式会社エクサ		110	データディレクトテクノロジー株式会社	
51	NIITテクノロジーズ株式会社		111	株式会社 データベーステクノロジー	
52	NECシステムテクノロジー株式会社		112	テクマトリックス株式会社	
53	NECソフト株式会社		113	株式会社デジタルコミュニケーションズ	
54	NECネクサソリューションズ株式会社		114	学校法人電子学園日本電子専門学校	
55	NECメディアプロダクツ株式会社		115	株式会社 電通国際情報サービス	
56	NTT アイティ株式会社		116	東京エレクトロン株式会社	
57	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社		117	東芝情報システム株式会社	
58	エプソンコーワ株式会社		118	東芝テック株式会社	
59	株式会社MITシステム研究所		119	図書印刷株式会社	
60	株式会社エルザ		120	凸版印刷株式会社	

NO.	会社名	備考	NO.	会社名	備考
121	トッパン・フォームズ株式会社		181	弥生株式会社	
122	日外アソシエーツ株式会社		182	ユニコテクノス株式会社	
123	日揮情報ソフトウェア株式会社		183	リコーソフトウェア株式会社	
124	株式会社ニックス		184	リコーテクノシステムズ株式会社	
125	日新電機株式会社		185	理想科学工業株式会社	
126	日本システムウエア株式会社		186	リングアンドリンク株式会社	
127	日本情報通信株式会社		187	株式会社レゾロジック	
128	日本テレコム株式会社		188	株式会社ロココ	
129	日本アイオナテクノロジー株式会社		189	株式会社ワイ・エス・ビー	
130	日本アイ・ピー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社				
131	日本情報通信コンサルティング株式会社				
132	日本 BEA システムズ株式会社				
133	日本ビジネスコンピューター株式会社				
134	日本郵政公社	特別会員			
135	日本ライセンスバンク				
136	ニュアンス・コミュニケーションズ株式会社				
137	ネクストソリューション株式会社				
138	ネットセンチュリー株式会社				
139	株式会社ネット・タイム				
140	ノベル株式会社				
141	株式会社ノムラシステムコーポレーション				
142	株式会社野村総合研究所				
143	パシフィックシステム株式会社				
144	株式会社 PFU				
145	PFU アクティブラボ株式会社				
146	株式会社ビーコンIT				
147	ビーコンシステム株式会社				
148	東日本電信電話株式会社				
149	日立INSソフトウェア株式会社				
150	日立インターメディックス株式会社				
151	株式会社日立インフォメーションアカデミー				
152	日立公共システムエンジニアリング株式会社				
153	日立ハイブリッドネットワーク株式会社				
154	日立ビジネスソリューション株式会社				
155	広島商船高等専門学校				
156	富士インフォックス・ネット株式会社				
157	フジオーネ・テクノ・ソリューションズ株式会社				
158	富士写真フイルム株式会社				
159	富士ゼロックス株式会社				
160	富士ゼロックス情報システム株式会社				
161	株式会社富士通研究所				
162	富士電機情報サービス株式会社				
163	株式会社フジミック				
164	株式会社フライトシステムコンサルティング				
165	株式会社プリズム				
166	株式会社ブレインワークス				
167	ブレインセラーズ・ドットコム株式会社				
168	株式会社ベネッセコーポレーション				
169	ベリングポイント株式会社				
170	法規書籍印刷株式会社				
171	PolarLake Ltd.				
172	マップジャパン株式会社				
173	みずほ情報総研株式会社				
174	三井物産株式会社				
175	株式会社ミツエーリンクス				
176	三菱電機株式会社				
177	ミリオン株式会社				
178	株式会社 明電舎				
179	株式会社メディアフュージョン				
180	株式会社山武				